お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス　http://www.pentax.co.jp/

［弊社製品に関するお問い合わせ］
お客様相談センター　ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。　☎03-3960-3200（代）

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9：00 ～午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［ショールーム・写真展・修理受付］
ペンタックスフォーラム　☎03-3348-2941（代）

〒 163-0401　東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）

営業時間　午前 10：30 ～午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

［ペンタックスファミリーのご案内］
「写真をもっと楽しむために …」
ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の全国的な写真クラブです。会員の方には、年 4 回発行の機関誌「Pentax Family」や年 1 回発行の「ペンタックス写真年鑑」などの刊行物をお届けするほか、写真セミナーなどのイベントへの参加や修理料金の会員割引等の様々な得点をご用意しております。あなたも「ペンタックスファミリー」で素晴らしい写真の世界をお楽しみください。

ペンタックスファミリー事務局　☎03-3960-5740（代）

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間　午前 9：00 ～午後 5：30（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
ペンタックスファミリーホームページアドレス　http://www.pentax.co.jp/family/

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますようお願い申し上げます。
付属のCD-ROMと弊社ホームページから登録が可能です。同梱の「PC接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57755
01-200609
Printed in Philippines

Optio A20

PENTAX®

デジタルカメラ

Optio A20

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
SDロゴおよび SDHCロゴは商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching III より前の規格に対応したプリンターでは、一部機能が反映されません。PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
Red Eye software © 2003 – 2006 FotoNation Inc. Face Tracker software © 2005 – 2006 FotoNation Inc. FotoNation in Camera Red Eye とFace Trackerは米国特許（6,407,777）と（7,042,505）および申請中特許を使用しています。
DivX、DivX認証、および関連するロゴはDivX, Inc.の商標であり、ライセンス上で使用されています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。
本説明書中ではSDメモリーカードならびにSDHCメモリーカードのことをSDメモリーカードと表現しています。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ **注意**

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

バッテリー充電器とACアダプタについて

⚠ 警告

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- バッテリー充電器をお使いにならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器で充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外の電池は充電しないでください。他の電池を充電しようとすると、発熱や、充電器の故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により撮影や再生、パソコン等への転送ができなかった場合、画像や音声など記録内容の保証については、ご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.22）をご覧ください。

- SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコンなどの機能を用いて消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理はお客様の責任において行ってください。
- 本製品に付属しているACコードD-CO2Jは、バッテリー充電器D-BC8専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

LED安全基準について
この装置は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のデジタルスチルカメラです。

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますようお願い申し上げます。
付属のCD-ROMと弊社ホームページから登録が可能です。同梱の「PC接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

目次

設定 149

付録 166

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「録音・再生」「再生・消去・画像編集」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影シーンに合わせた撮影モード画面の設定方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 録音・再生

音声だけの録音や画像に音声を追加する方法、再生のしかたを説明しています。

6 再生・消去・画像編集

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかた、画像サイズの変更やトリミングの方法、直接プリンターにつないでプリントする方法などを説明しています。

7 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

8 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

1 2 3 4 5 6 7 8

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

主な同梱品の確認

本体
Optio A20

ストラップ
O-ST20（※）

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW56

AVケーブル
I-AVC7（※）

USBケーブル
I-USB17（※）

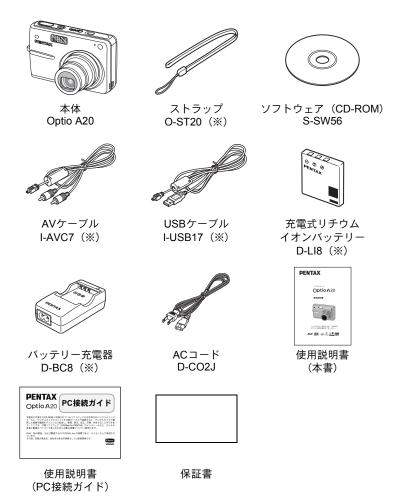
充電式リチウム
イオンバッテリー
D-LI8（※）

バッテリー充電器
D-BC8（※）

ACコード
D-CO2J

使用説明書
（本書）

使用説明書
（PC接続ガイド）

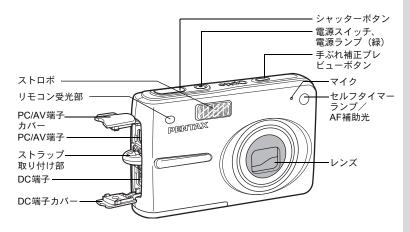
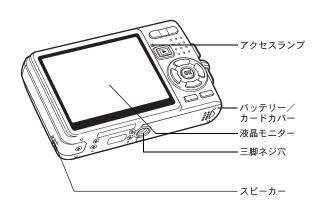
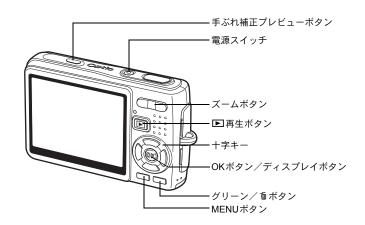
保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.172）をご覧ください。

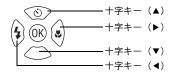
各部の名称

前面

シャッターボタン
電源スイッチ、
電源ランプ（緑）
手ぶれ補正プレ
ビューボタン
ストロボ
マイク
リモコン受光部
セルフタイマー
ランプ／
AF補助光
PC/AV端子
カバー
PC/AV端子
PENTAX
ストラップ
取り付け部
レンズ
DC端子
DC端子カバー

背面

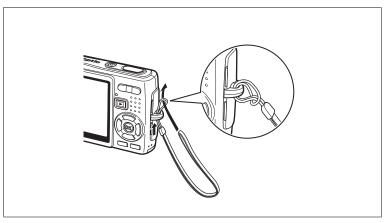
アクセスランプ
バッテリー／
カードカバー
液晶モニター
三脚ネジ穴
スピーカー

操作部の名称

十字キーについて

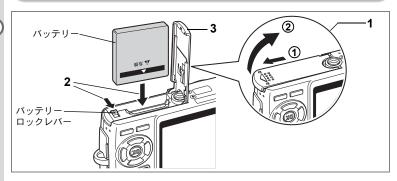
本書では、十字キーを以下のとおり表記します。

ガイド表示について

操作中は液晶モニターにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU
シャッターボタン	SHUTTER
OKボタン	OK

ズームボタン デジタルズーム時 トリミング指定時	 🔍 🔍
グリーン／🗑ボタン グリーンボタン時 消去操作時	 ▭ 🗑

ストラップを取り付ける

ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する

バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2　バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーの▲マークを液晶モニター側に向けながらロックされるまで挿入する

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

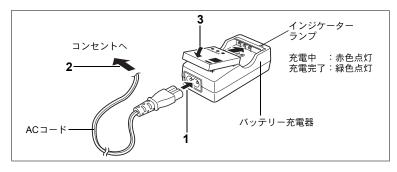
バッテリーを取り出す

1　バッテリー／カードカバーを開ける

2　バッテリーロックレバーをバッテリー挿入時と同じ方向に押す

バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いてください。

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）をご使用ください。（p.19）

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったとき、「電池容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1　バッテリー充電器D-BC8にACコードを接続する

2　ACコードをコンセントに差し込む

3　専用バッテリーをPENTAXロゴが見えるようにセットする

充電中はインジケーターランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、インジケーターランプが緑色に点灯します。

4　充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り外す

- 充電時間は、最大で約100分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。（周囲の温度や充電状態によって異なります。）
- 正しく充電しても使用できる時間が短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

- 付属のバッテリー充電器では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケーターランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。

• 使用時間の目安（専用バッテリー D-LI8フル充電時）

撮影可能枚数　：約150枚（ストロボ使用率50%、液晶モニターオン、23℃）
再生時間　：約100分
動画撮影時間　：約50分
音声記録時間　：約110分

• 撮影可能枚数は、CIPA規格に準じた条件で測定したものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

注意

• 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
• 海外旅行、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備バッテリーをご用意ください。

• バッテリーの残量表示

液晶モニターに表示されたで、バッテリーの残量を確認できます。

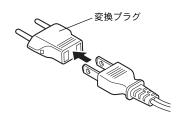
（緑点灯）	：	バッテリーがまだ十分に残っています。
↓		
（緑点灯）	：	わずかに減っています。
↓		
（黄点灯）	：	かなり減っています。
↓		
（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました」	：	メッセージ表示後、電源オフとなります。

• リサイクルについて

Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

海外でバッテリーを充電する

同梱のバッテリー充電器は、自動で全世界の電源電圧（100-240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り換わるように設計されています。
ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」（p.18）を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った市販の変換プラグを準備してください。（ひとつの国の中でも地域によってコンセント形状が異なる場合がありますので、ご注意ください。）
充電の仕方は、国内と同じです。

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- ご使用にならないときは、変換プラグをコンセントから外してください。

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

同梱のACコード D-CO2Jは、タイプAです。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

		A	B	BF	C	S
北米	アメリカ合衆国、カナダ	○				
ヨーロッパ、旧ソ連地域	アイスランド、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、カザフスタン、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベラルーシ、ベルギー、ルーマニア、ロシア				○	
	イギリス		○	○		
	スペイン	○			○	
	スイス、ポーランド、ポルトガル		○		○	
アジア	台湾	○				
	スリランカ、モルジブ		○			
	ネパール、バングラデシュ、モンゴル				○	
	ベトナム	○			○	
	インド、インドネシア、パキスタン、マカオ特別区		○		○	
	タイ	○		○	○	
	大韓民国	○	○		○	
	フィリピン	○			○	○
	シンガポール、香港特別行政区		○	○		
	中華人民共和国	○	○	○	○	○
	マレーシア		○	○	○	
オセアニア	オーストラリア、トンガ、ニュージーランド、フィジー					○
	グァム島	○				
	タヒチ				○	
中南米	コロンビア、ジャマイカ、ハイチ、パナマ、バハマ、プエルトリコ、ベネズエラ、メキシコ	○				
	ブラジル、ペルー	○			○	
	チリ		○		○	
	アルゼンチン			○	○	○
中東	イスラエル、イラン				○	
	クウェート		○		○	
	ヨルダン		○	○		
アフリカ	カナリア諸島、ギニア、モザンビーク、モロッコ				○	
	ケニア、南アフリカ共和国		○		○	
	アルジェリア	○	○	○		
	エジプト		○	○	○	
	ザンビア、タンザニア		○	○		

ACアダプタを使用する（別売）

液晶モニターを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、DC端子カバーを開ける

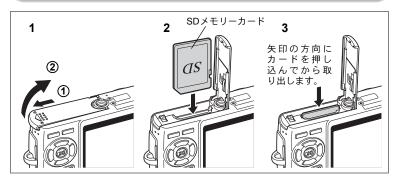
2　AC アダプタの DC 端子を、カメラの DC 入力端子に「◀」マークを合わせて接続する

3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC8Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- DC端子を接続するときは、必ず「◀」マークを合わせてください。無理に差し込むと破損の恐れがあります。

バッテリー充電器とACアダプタの使用上の注意

バッテリー充電器とACアダプタを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
バッテリー充電器とACアダプタの仕様については、p.179をご覧ください。

SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、SDメモリーカードが使用できます。撮影した画像は、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに記録されます。カードをセットして撮影したときはカードに、カードをセットしていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- SD メモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」(p.150) をご覧ください。

1 バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2 SD メモリーカードのラベル（▲ 印のある）面を液晶モニター側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3 バッテリー／カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込みます。カードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

撮影できる画像の枚数は、使用するSDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。(☞p.23)

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記憶したデータは、まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

SDメモリーカード使用上の注意

- カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。

ライトプロテクトスイッチ

- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」（p.150）をご覧ください。
- SD メモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SD メモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、動画撮影時にカードに空き容量があっても途中で撮影が終了したり、撮影・再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- フォーマットしたSDメモリーカードでも、市販の修復ソフトを使用するとデータを再び取り出せることがあります。廃棄の際はSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

静止画の記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントしたときに鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。なお、大きな記録サイズで高画質にした場合、撮影後の記録に十数秒かかることがあります。
画像の記録サイズと画質の設定は、「📷撮影」メニューで行います。

メニューの操作方法☞p.38
静止画の記録サイズを選択する☞p.79
静止画の画質を選択する☞p.81

● 選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ		用途
10M (3648×2736)	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
7M (3072×2304)		
5M (2592×1944)		
3M (2048×1536)		
2M (1600×1200)		はがきサイズプリント ホームページ掲載、電子メール添付など
1024 (1024×768)		
640 (640×480)		

初期設定では、10M（3648×2736）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

画質		用途
★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、★★が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

画質 / 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	音声
10M (3648×2736)	74枚	107枚	149枚	4時間 19分59秒
7M (3072×2304)	104枚	151枚	210枚	
5M (2592×1944)	147枚	213枚	296枚	
3M (2048×1536)	223枚	323枚	448枚	
2M (1600×1200)	313枚	453枚	628枚	
1024 (1024×768)	571枚	826枚	1144枚	
640 (640×480)	1048枚	1515枚	2098枚	

- 表の数値は、256MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

動画の記録サイズと画質

動画の記録サイズと画質は、動画の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどきめ細かい画像になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
動画の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の記録サイズを選択する☞p.90

動画の画質を選択する☞p.91

● 選べる記録サイズと適した用途

640 (640×480)	VGAサイズで高画質な動画を楽しめます。ただし記録時間は短くなります。
320 (320×240)	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

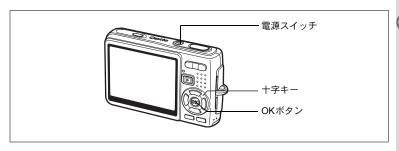
初期設定では、640（640×480）が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能時間の目安

画質 / 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
640 (640×480)	11分35秒	14分30秒	17分25秒
320 (320×240)	44分47秒	55分39秒	64分10秒

初期設定では、★★★が選択されています。

- 表の数値は、256MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

初期設定をする（表示言語と日時の設定）

カメラの電源を入れたときに、「Initial Setting」や「日時設定」画面が表示されたら、次の手順に従って初期設定をしてください。

［Initial Setting（初期設定）の画面が表示された場合］

☞p.25～26「言語を設定する」「日時を設定する」

［日時設定の画面が表示された場合］

☞p.26「日時を設定する」

初期設定をやりなおしたい場合は、「日時を変更する」(p.154)、「表示言語を変更する」（p.158）をご覧ください。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（▶）を押す

Language／言語 画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

Initial Setting
Language/言語　English ▶
Hometown　0:00
New York　DST OFF
Video Out　NTSC
MENU Cancel　OK OK

3 OKボタンを押す

「日本語」を選ぶと「現在地」、「ビデオ出力」が右図のように表示されます。

初期設定
Language/言語　日本語
現在地　0:00
東京
ビデオ出力　NTSC
MENU 取消　OK 決定

4 OKボタンを押す

日時を設定する画面が表示されます。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年／月／日」に移動します。

2 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

日時設定
表示スタイル　年/月/日　24h
日付　2006/01/01
時刻　0:00
MENU 取消　OK 決定

3 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

4 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

8 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

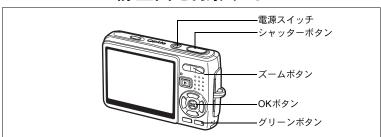
同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが切り替わります。

日時設定
表示スタイル 年/月/日 24h
日付 2006/01/01
時刻 0:00
MENU 取消 OK 決定

- 日時の設定終了後、OKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 時報に合わせてOKボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後にメニュー操作で変更することができます。操作方法については、以下のページをご覧ください。
  「言語」:「表示言語を変更する」（p.158）
  「都市」「夏時間」:「ワールドタイムを設定する」（p.156）
  「日時」:「日時を変更する」（p.154）
- 「ビデオ出力」方式は、ここで設定した言語に連動して下記のように自動的に設定されます。お使いになる地域の方式と異なる場合は、「ビデオ出力方式を選択する」(p.161) の手順に従って変更してください。

言語	ビデオ出力
英語（English）	NTSC
フランス語（Français）	PAL
ドイツ語（Deutsch）	PAL
スペイン語（Español）	PAL
ポルトガル語（Português）	PAL
イタリア語（Italiano）	PAL
スウェーデン語（Svenska）	PAL
オランダ語（Nederlands）	PAL
ロシア語（Русский）	PAL
タイ語（ไทย）	PAL
韓国語（한국어）	NTSC
中国語・繁体字（中文繁體）	PAL
中国語・簡体字（中文简体）	PAL
日本語	NTSC

静止画を撮影する

最も簡単な静止画の撮影方法を説明します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2 液晶モニターを確認する

液晶モニターの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。
ズームボタン（♠）：被写体が大きく写る。
ズームボタン（♠♠♠）：被写体が小さく写る。

フォーカスフレーム

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影した画像が液晶モニターに0.5秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカード、または内蔵メモリーに保存されます。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。
半押しのとき、ピントが合うと液晶モニター上で緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、枠が表示されません。

全押し

シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定(シャッターボタン半押し)し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」の表示時間は、初期設定では0.5秒間に設定されています。クイックビュー表示中にグリーンボタンを押すと、消去画面が表示されます。「消去」を選びOKボタンを押すと、その画像を消去することができます。(☞p.116)

クイックビューの時間を設定する☞p.94

静止画を再生する

画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

拡大して再生する☞p.108

前後の画像を再生する

静止画を前後に1枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

十字キー（◀）：前の画像を表示。
十字キー（▶）：次の画像を表示。

表示した画像を消去するには

1　画像再生中に、グリーンボタンを押す

消去画面が表示されます。

ファイルNo.
100-0010
消去
キャンセル
全画像/音声　OK 決定

2　十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押す

再生中の画像が消去されます。

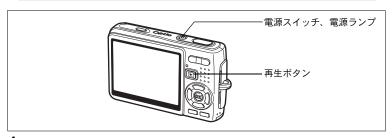
3　▶再生ボタンを、もう一度押す

撮影できる状態になります。
シャッターボタンを半押ししても、撮影できる状態に戻ります。

- 再生モードに切り替えると、最後に撮影した画像が最初に表示されます。
- 液晶モニターに表示された画像は、ズームボタンで拡大して見ることができます。（回転表示中の画像を拡大すると、一時的に回転表示が解除されます。拡大をやめると、元の回転表示に戻ります。）
- 画像が保存されていないときは、「画像／音声がありません」と表示されます。

拡大して再生する☞p.108

画像・動画・音声を消去する☞p.116

電源をオン／オフする

1 電源スイッチを押す

電源ランプが緑色に点灯し、レンズが繰り出されて撮影モードで起動します。
シャッターを押せばすぐに写真が撮れる状態です。

▶再生ボタン：レンズが収納されずに、再生モードになる。
▶再生ボタンを2秒間押す：レンズが収納されて、再生モードになる。
▶再生ボタンを4秒以上押す：SDメモリーカードを入れたまま、内蔵メモリーの内容を表示する。

2 もう一度、電源スイッチを押す

電源がオフになります。

撮影モードと再生モードを切り替える☞p.46

マイアルバム機能を使う

このカメラには内蔵メモリーが搭載されていますが、SDメモリーカードをセットすると内蔵メモリーは隠れます。次の手順で隠れた内蔵メモリーを呼び出すことができるので、お気に入りの画像や映像、音声を内蔵メモリーに入れて、プライベートなアルバムとしてご利用ください。

1 カメラに SD メモリーカードがセットされていることを確認する

2 撮影モードで▶再生ボタンを4秒以上押し続ける

▶再生ボタンを押して2秒後にレンズが収納され、さらに2秒後に内蔵メモリーの内容が表示されます。

- 電源を入れなおしたり、再生モードから撮影モードに切り替えると、マイアルバム機能は解除され、SDメモリーカードに戻ります。
- マイアルバム機能を利用中はSDメモリーカードにアクセスできませんので、内蔵メモリーとSDメモリーカード間での転送機能は使えません。転送する場合は、マイアルバム機能を解除してください。
- マイアルバム機能を利用中は、フォーマットはできません。

SDメモリーカードから内蔵メモリーに画像を転送する☞p.148

再生モードで電源をオンにする

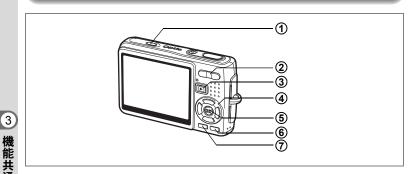
1 ▶再生ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

電源ランプが緑色に点灯し、レンズは収納されたまま再生モードで起動します。

▶再生ボタンを押す	：	**レンズが繰り出し、撮影モードになる。**
▶再生ボタンを2秒以上押す（撮影モード時）	：	**レンズが収納されたまま、再生モードになる。**
▶再生ボタンを押す（ボイスレコーディングモード時）	：	**レンズが収納されたまま、再生モードになる。**

電源スイッチを長く押し続けると、電源がオンからオフに戻ることがあります。

静止画を再生する☞p.30

ボタンの機能を使用する

撮影モード時

① **手ぶれ補正プレビューボタン**
静止画での手ぶれ補正の効果を、液晶モニターで確認できます。
（☞p.49）

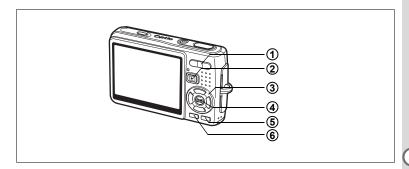
② **♠♠♠/♠ ズームボタン**
被写体の大きさを変えます。（☞p.28）

③ **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。もう一度押すと、撮影モードに戻ります。
（☞p.30）

④ **十字キー（◀▲▶）**
（✿▶）　フォーカスモードを切り替えます。（☞p.74）
（◌▲）　ドライブモードを切り替えます。（☞p.68～p.71）
（▼）　撮影モードパレットを表示します。（☞p.43）
（⚡◀）　ストロボの発光方法を切り替えます。（☞p.77）

⑤ **OK／ディスプレイボタン**
液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（☞p.46）

⑥ **グリーン／🗑ボタン**
グリーンモードに切り替えます。（☞p.50）
「📷撮影」メニューの「グリーンボタン」で他の機能を割り当てることもできます。（☞p.95）

⑦ **MENUボタン**
「📷撮影」メニューを表示します。（☞p.38）

再生モード時

① **♦♦♦/♦ ズームボタン**
1画面表示時に♦♦♦/▦を押すと、9画像表示になります。♦/🔍を押すと、前の表示に戻ります。(☞p.112)
1画面表示時に♦/🔍を押すと、画像が拡大表示されます。♦♦♦/▦を押すと前の表示に戻ります。(☞p.108)
9画像表示時に♦♦♦/▦を押すと、カレンダー表示に切り替わります。(p.113)

② **▶再生ボタン**
撮影モードに切り替えます。ボイスレコーディングモード時に▶再生ボタンを押して再生モードに入り、もう1度▶再生ボタンを押した場合、ボイスレコーディングモードに切り替わります。

③ **十字キー**
静止画再生時

（◀▶）　1画面表示時は、前後の画像を表示します。(☞p.30)
回転表示時は、（▶）を押すごとに時計回りに90度回転、（◀）を押すごとに反時計回りに90度回転します。(☞p.134)
（▼）　再生モードパレットを表示します。(☞p.45)
（▲▼◀▶）拡大表示時は、表示範囲を移動します。(☞p.108)
9画像表示時には、画像を選択します。(☞p.112)
カレンダー表示時には、日付を選択します。(p.113)

動画再生時

（▲）　動画・音声を再生／一時停止します。(☞p.110)
（◀▶）　動画再生中は、コマ送り、コマ戻し、早送り、巻き戻しをします。(☞p.110)
（▼）　動画・音声の再生を停止します。(☞p.110)

ボイスレコーディング再生時（☞p.105）

（▲）　再生を開始します。もう一度押すと、再生を一時停止します。

（◀▶）　再生の前に、再生したい音声ファイルを選びます。再生中には、下記の動作をします。

インデックスがない場合
（◀）約5秒戻る。
（▶）約5秒進む。
インデックスがある場合
（◀）前のインデックス位置から再生。
（▶）次のインデックス位置から再生。

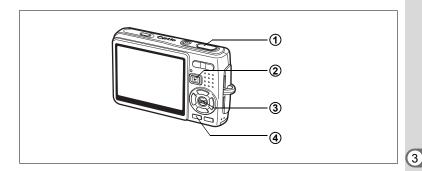
④ OK／ディスプレイボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（☞p.111）
9画像表示時は、1画面表示に戻ります。（☞p.112）
カレンダー表示時には、選択した画像を1画面表示します。（p.113）

⑤ グリーン／🗑ボタン

再生中の画像を消去します。（☞p.116）

⑥ MENUボタン

「📷撮影」メニューを表示します。（☞p.38）

ボイスレコーディングモード時

① **シャッターボタン**
ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。
1秒以上押し続けると、押している間だけ録音し、ボタンを離すと録音を停止します。

② **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。(☞p.33) もう一度押すとボイスレコーディングモードに戻ります。

③ **OK／ディスプレイボタン**
液晶モニターをオン／オフします。

④ **MENUボタン**
録音中に押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。
録音待機中、あるいは録音再生前に押すと「📷撮影」メニューを表示します。(☞p.38)

メニューを操作する

MENUボタンを押すと、液晶モニターにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容の保存、カメラの設定変更などができます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニターにガイドが表示されます。

1　MENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。
選択されている部分はハイライトで表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

メニュー画面が切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

ハイライトが上下に移動します。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューまたは設定画面が表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、設定が切り替わります。

設定を保存して撮影をしたいとき

6　シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して再生をしたいとき

6　▶再生ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

6 OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6 MENUボタンを押す

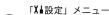
変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENUボタンの機能は、画面によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 ：現在の設定を保存してメニュー操作を終了し、元の画面（撮影モード、または再生モード)に戻る。

MENU ⮌ ：現在の設定を保存して、手順1の画面に戻る。

MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻る。

- ポップアップが表示されている状態でMENUボタンを押すと、設定がキャンセルされます。
- ポップアップが表示されている状態でOKボタン、MENUボタン、十字キー（◀）を押すと、項目選択画面に戻ります。
- メニュー画面を表示させてから1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。

操作の例

1 MENUボタン

2

「撮影」メニュー

設定
フォーマット
サウンド
日時設定
ワールドタイム
Language/言語 日本語
フォルダ名 標準
MENU 終了

3

3

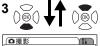
4

撮影
記録サイズ 10M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

3

4’

選択画面

3

次のメニュー画面へ

メニュー一覧

「撮影」メニュー

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th><th>参照</th></tr>
<tr><td colspan="2">記録サイズ</td><td>画像の画素数が選べます。</td><td>p.79</td></tr>
<tr><td colspan="2">画質</td><td>画像の圧縮率が選べます。</td><td>p.81</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホワイトバランス</td><td>撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。</td><td>p.82</td></tr>
<tr><td rowspan="3">AF</td><td>AFエリア</td><td>オートフォーカスの対象となる範囲を変更します。</td><td>p.84</td></tr>
<tr><td>フォーカスリミット</td><td>レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。</td><td>p.85</td></tr>
<tr><td>AF補助光</td><td>被写体が暗く、オートフォーカスが正確に作動しない環境でピントを合わせやすくします。</td><td>p.85</td></tr>
<tr><td colspan="2">測光方式</td><td>露出を決定する測光方式を設定します。</td><td>p.86</td></tr>
<tr><td colspan="2">感度</td><td>感度を設定します。</td><td>p.87</td></tr>
<tr><td colspan="2">露出補正</td><td>－2.0EV～＋2.0EVの間で露出を補正します。</td><td>p.89</td></tr>
<tr><td rowspan="3">動画</td><td>記録サイズ</td><td>動画の画素数が選べます。</td><td>p.90</td></tr>
<tr><td>画質</td><td>動画の画質が選べます。</td><td>p.91</td></tr>
<tr><td>動画手ぶれ補正</td><td>動画の手ぶれを自動的に補正します。</td><td>p.92</td></tr>
<tr><td colspan="2">手ぶれ補正</td><td>静止画撮影時の手ぶれを補正します。</td><td>p.93</td></tr>
<tr><td colspan="2">デジタルズーム</td><td>デジタルズーム撮影ができます。</td><td>p.72</td></tr>
<tr><td colspan="2">クイックビュー</td><td>クイックビューの表示時間を設定します。</td><td>p.94</td></tr>
<tr><td colspan="2">モードメモリ</td><td>電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします。</td><td>p.101</td></tr>
<tr><td colspan="2">グリーンボタン</td><td>グリーンボタンに機能を登録します。</td><td>p.95</td></tr>
<tr><td colspan="2">シャープネス</td><td>シャープネスを設定します。</td><td>p.98</td></tr>
<tr><td colspan="2">彩度</td><td>彩度を設定します。</td><td>p.99</td></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト</td><td>コントラストを設定します。</td><td>p.100</td></tr>
</table>

「設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化します。	p.150
サウンド	操作音量、再生音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.151
日時設定	日付・時刻、表示スタイルを設定します。	p.154
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.156
Language／言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.158
フォルダ名	画像や音声を保存するフォルダ名の付けかたを設定します。	p.159
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.160
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	p.161
LCDの明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。	p.162
エコモード	節電機能を設定します。	p.163
クイック拡大	ズームボタンを一度操作するだけで、画面を指定倍率に拡大できるように設定します。	p.109
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします。	p.164
ガイド表示	オンに設定すると、撮影モード画面上で現在選択されているモード、十字キーの状態、グリーンボタンの内容を表示します。またモードパレット上では、選んでいるアイコンの説明を表示します。	p.164
リセット	設定を初期値に戻します。	p.165

モードパレットを操作する

十字キー（▼）を押すと、液晶モニターにモードパレットが表示されます。モードパレットを使用して、画像の編集やカメラの設定変更などができます。

モードパレットの操作方法

モードパレット操作中は、液晶モニターにガイドが表示されます。

1　十字キー（▼）を押す

撮影モードでは撮影モードパレット、再生モードでは再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で使用したいモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

各モードの画面が表示されます。

モードパレット一覧

撮影モードパレット

アイコン	項目	内容	参照
AUTO PICT	オートピクチャーモード	撮影モードの選択をカメラにまかせて撮影します。	p.52
P	プログラムモード	シャッター速度と絞り値をカメラにまかせて撮影します。	
Tv	シャッター優先モード	シャッター速度を手動で設定し、絞り値をカメラにまかせて撮影します。	p.53
M	マニュアルモード	絞りとシャッター速度を手動で設定して撮影します。	
	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.62

アイコン	項目		内容	参照
	動画モード		動画を撮影します。	p.64
	ボイスレコーディングモード		音声を記録します。	p.103
	ピクチャーモード	風景	風景写真をきれいに仕上げます。	p.56
		花	花の写真をきれいに仕上げます。	
		ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。	p.58
		キッズ	動きの多い子供の写真をきれいに仕上げます。	
		サーフ&スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	p.56
		スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のぶれを軽減します。	
		ペット	ペットの毛色を活かして写真をきれいに仕上げます。	p.60
		テキスト	文字をくっきりときれいに撮影します。また、お好みで白黒や反転に仕上げます。	p.61
		料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。	p.56
	ぶれ軽減モード		より高い感度で、ぶれを軽減して撮影します。	p.63
	フレーム合成モード		フレーム（飾り枠）付きの画像を撮影します。	p.66

- アイコンを選んだ状態で約3秒たつと、そのモードの説明が表示されます。
- /とP/Tv/Mは、ポップアップで切り替えて選びます。モードパレットには、現在選ばれているモードのアイコンが表示されます。他のモードに切り替えると、モードパレットのアイコン表示も変わります。

再生モードパレット

アイコン	項目	内容	参照
	スライドショウ	保存された画像を連続で再生します。	p.114
	リサイズ	画像のサイズと画質を変更します。	p.131
	トリミング	画像の一部をトリミングして、別の画像として保存します。	p.133
	画像／音声コピー	画像・音声を内蔵メモリーからSDメモリーカードへ、またはSDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。	p.147
	画像回転	静止画を回転して表示させます。	p.134
	カラーフィルタ	静止画にカラーフィルタ処理を行います。	p.135
	デジタルフィルタ	イラスト加工やスリム加工など、静止画を好みに合わせて加工します。	p.137
	明るさフィルタ	静止画の明るさをフィルタで調節します。	p.139
	動画編集	動画の編集をします。	p.140
	赤目補正	ストロボ撮影による赤目を補正します。	p.143
	ボイスメモ	画像にボイスメモを付けます。	p.106
	プロテクト	画像・音声を誤って消去しないようにプロテクトします。	p.120
DPOF	DPOF	DPOF対応プリンターやラボプリントサービスでプリントするための設定をします。	p.124
OPTIO	起動画面設定	起動画面を設定します。	p.149
	フレーム合成	撮影した静止画に飾り枠を合成します。	p.145

アイコンを選んだ状態で約3秒たつと、そのモードの説明が表示されます。

撮影する

モードを切り替える

撮影ができる状態を「撮影モード」、再生や消去ができる状態を「再生モード」といいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

- 「撮影モード」から「再生モード」へは、▶再生ボタンを押して切り替えます。
- 「再生モード」から「撮影モード」へは、▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モード

モードパレットで撮影モードを選択します。(☞p.43)

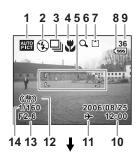
撮影情報を表示する

撮影モード時にOK／ディスプレイボタンを押すと、現在の撮影条件などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

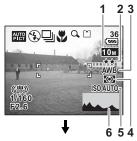
通常表示

電源をオンしたときの状態です。撮影情報を表示します。

1 撮影モード	2 ストロボモード
3 ドライブモード	4 フォーカスモード
5 フォーカスフレーム	6 デジタルズーム
7 カード／内蔵メモリー	8 バッテリー残量表示
9 撮影可能残量	10 日時
11 ワールドタイム設定	12 手ぶれ補正（オン）※
13 絞り値	14 シャッター速度

※ 手ぶれ補正がオフのときは（手ぶれ補正オフ）が表示されます。シャッター速度が遅いときは（手ぶれ警告）が表示されます。

ヒストグラム表示
明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 記録サイズ	**2** 画質
3 ホワイトバランス	**4** 測光方式
5 感度	**6** ヒストグラム

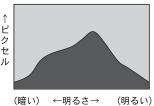
グリッド表示
縦横3分割の位置にグリッドを表示します。撮影時に使用すると、構図が決めやすくなります。

情報表示なし
撮影情報を表示しません。
- オートフォーカス時には、フォーカスフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

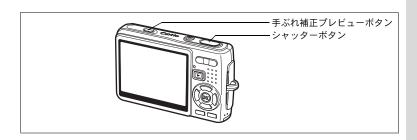
バックライトオフ
液晶モニターがオフになります。

液晶モニターの表示モードを保存する☞p.101

- 手ぶれしやすい条件のとき、（手ぶれ警告）が表示されます。手ぶれ補正機能を使用するか、カメラを三脚などに固定して撮影してください。（☞p.49）
- バックライトがオフのときにも、すべてのボタンは通常通り使用できます。シャッターボタンを押せば、通常通り撮影できます。

ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさのピクセル数を積み上げたグラフ（明るさの分布図）です。ヒストグラムを参照することで、撮影した画像がどの程度の明るさになっているか、おおよその傾向をつかむことができます。例えば、グラフの山が左側に偏っているほど暗い画像になり、右側に偏っていれば明るい画像になります。

一般的に明暗差のバランスがとれた画像の場合、中央部になだらかな山のピークができていることが多くなります。逆に明暗差が極端で、明るい部分と暗い部分のみで構成され、中間的な明るさの部分が少ない画像の場合、左右に山のピークができ、中央部分がくぼんだグラフになります。

暗い画像　　**普通の明るさの画像**　　**明るい画像**

手ぶれを補正して静止画を撮影する

このカメラはCCDシフト方式手ぶれ補正機構を内蔵しており、静止画撮影時の手ぶれを補正します。手ぶれが発生しやすい暗い場所での撮影やマクロ撮影、望遠撮影に役立ちます。動画の手ぶれ補正については、「動画の手ぶれを補正する」（p.92）をご覧ください。

1　手ぶれ補正プレビューボタンを押す

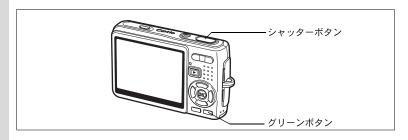
手ぶれ補正プレビューボタンを押している間、液晶モニターで手ぶれ補正の効果を確認できます。

2　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 手ぶれ補正プレビューボタンを作動させるためには、「撮影」メニューで手ぶれ補正をオンにしておく必要があります。設定のしかたは、「静止画の手ぶれ補正を設定する」（p.93）をご覧ください。初期設定では、オンが選択されています。
- 「撮影」メニューの手ぶれ補正がオンに設定されている場合、手ぶれ補正プレビューボタンを押すと静止画再生モードやボイスレコーディングモードのほか、USB接続中でも手ぶれ補正機能が作動し、電力を消費します。必要なとき以外はボタンを押さないでください。

手ぶれ補正プレビューボタンを押さずにシャッターボタンを全押しするだけでも手ぶれ補正された画像を撮影できます。この場合、撮影前に手ぶれ補正された画像が液晶モニターに表示されません。

4
撮影

簡単撮影モードで撮影する（グリーンモード）

グリーンボタンを押すだけで、手軽に撮影を楽しめます。

1　撮影モードでグリーンボタンを押す

グリーンモードに入ります。
もう1回グリーンボタンを押すと、グリーンモードに入る前の撮影モードに戻ります。

2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

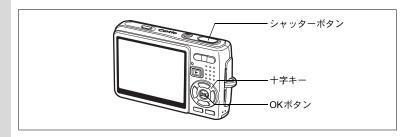
3　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- グリーンモードでは、OK／ディスプレイボタンを押して液晶モニターの情報表示を切り替えることはできません。
- グリーンモードでは、「撮影」メニューや撮影モードパレットを表示できません。表示させようとすると、（キーロック表示）と「この機能を使用するには、グリーンモードを解除してください。」というメッセージが表示されます。
- グリーンモードから再生モードに切り替えると、MENUボタンを押しても、「設定」メニューは表示されません。表示させようとすると、（キーロック表示）と「この機能を使用するには、グリーンモードを解除してください。」というメッセージが表示されます。
- グリーンモードにしたまま電源をオフにすると、次回もグリーンモードで起動します。

「撮影」メニューの「グリーンボタン」で、グリーンボタンに他の機能を割り当てることもできます。（p.95）

グリーンモードでの設定値は、以下のとおりです。

ストロボモード	初期値は⚡A（オート）。🚫（発光禁止）も選択可能。
ドライブモード	初期値は□（標準）。⏲（セルフタイマー）も選択可能。
フォーカスモード	初期値は**AF**（標準）。🌷（マクロモード）も選択可能。
記録サイズ	10M
画質	★★（ファイン）
ホワイトバランス	**AWB**（オート）
AFエリア	[ ]（マルチ）
フォーカスリミット	☑（オン）
AF補助光	☑（オン）
測光方式	⦾（分割測光）
感度	AUTO
露出補正	±0.0
デジタルズーム	☑（オン）
クイックビュー	0.5秒
シャープネス	−・+（標準）
彩度	−・+（標準）
コントラスト	−・+（標準）

カメラまかせで撮影する（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、シャッターを押すだけで、☺（標準モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（ポートレートモード）のうち最適なモードで撮影することができます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICT（オートピクチャーモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

オートピクチャー
AUTO PICT　P
MENU 取消　OK 決定

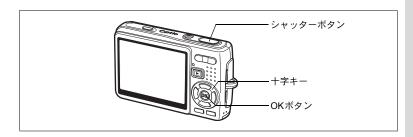
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、自動選択された撮影モードが液晶モニター左上に表示されます。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.28

- オートピクチャーモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。（☞p.89）
- オートピクチャーモードを選び、ポートレートモードになると、顔認識AFと顔認識AEが働きます。人物に正面からカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を認識し、ピントを合わせ、露出調整して撮影します。（☞p.58）

露出モードや機能を設定して撮影する

P（プログラムモード）、Tv（シャッター優先モード）、M（マニュアルモード）では、シャッター速度と絞り値の設定方法（露出モード）を変えて、静止画を撮影します。
また、ストロボの発光方式や連続撮影などいろいろな機能を組み合わせて、好みにあわせた撮影が楽しめます。

P	プログラム	シャッター速度と絞り値が自動的に設定されます。
Tv	シャッター優先	シャッター速度を手動で設定します。絞り値は自動設定されます。
M	マニュアル	絞りとシャッター速度を手動で設定して撮影します。

● **絞りとシャッター速度について**

シャッター速度と絞りの組み合わせを変えると、画像の印象を変えることができます。

シャッター速度を遅くする	シャッターを開けている時間を長くします。 動く被写体を撮影すると、シャッターを開けている間その動きが記録されるので、躍動感のある写真になります。
シャッター速度を速くする	シャッターを開けている時間を短くします。 動いている被写体の一瞬の動きをとらえて、撮影することができます。
絞り値を小さくする	レンズを通る光の量を少なくします。
絞り値を大きくする	レンズを通る光の量を多くします。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、P（プログラムモード）を選ぶ

前回にP（プログラムモード）以外を選んでいれば、撮影モードパレットにはそのアイコンが表示されています。

3　OKボタンを押す

ポップアップが表示されます。

プログラムモードを選ぶ場合

4　十字キー（▲▼）でP（プログラムモード）を選び、OKボタンを押す

P（プログラムモード）で撮影できる状態になります。
必要に応じて、その他の機能を設定してください。

「撮影のための機能を設定する」☞p.74～p.100

シャッター優先モードを選ぶ場合

4　十字キー（▲▼）でTv（シャッター優先モード）を選び、OKボタンを押す

5　十字キー（▼）を押す

シャッター速度の設定画面が表示されます。

シャッター速度

6　十字キー（◀▶）で、シャッター速度を切り替える

選んだシャッター速度にあわせて、絞りが自動設定されます。
自動で調整できないときは、画面の下中央に露出警告が表示されます。
これを目安に、露出を調整してください。
◸のとき：シャッター速度を速くする。
◿のとき：シャッター速度を遅くする。

露出警告
補正値

露出補正（p.89）を併用すると、画面の下中央に露出補正値が表示され、その上に露出警告が表示されます。

7 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。
必要に応じて、その他の機能を設定してください。

「撮影のための機能を設定する」☞p.74～p.100

マニュアルモードを選ぶ場合

4 十字キー（▲▼）で M（マニュアルモード）を選び、OKボタンを押す

5 十字キー（▼）を押す

シャッター速度と絞り値の設定画面が表示されます。

6 十字キー（◀▶）でシャッター速度を、十字キー（▲）で絞り値を切り替える

シャッター速度と絞りの組み合わせによっては、画面の下中央に露出警告が表示されます。調整の目安にしてください。

絞り値　シャッター速度

7 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。
必要に応じて、その他の機能を設定してください。

「撮影のための機能を設定する」☞p.74～p.100

- モードパレットには、現在選ばれている露出モードのアイコンが表示されます。露出モードを切り替えると、モードパレットのアイコン表示も変わります。
- シャッター速度や絞り値の設定画面で十字キー（▼）を押すと、撮影モードパレットを表示することができます。
- Tv（シャッター優先モード）では、感度はAUTO800に固定されます。
- Tv（シャッター優先モード）、M（マニュアルモード）の露出警告は、次のように表示されます。
  - 露出が不適正（2段階を超えるズレ）なら、◸または◿アイコンを表示
  - 露出が不適正（2段階以内のズレ）なら、◸または◿アイコンと数値を表示
  - 露出が適正なら、警告表示なし

4
撮影

シーンに合わせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンに合わせた設定で撮影します。ピクチャーモードには、次の9のモードがあります。

	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。
	キッズ	動きの多い子供の写真をきれいに仕上げます。
	サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のぶれを軽減します。
	ペット	ペットの毛色を活かして写真をきれいに仕上げます。
	テキスト	文字をくっきりときれいに撮影します。また、お好みで白黒や反転に仕上げます。
	料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、使用したいピクチャーモードを選ぶ

例として（風景モード）を選択します。

ピクチャーモード

4 撮影

3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ピクチャーモードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの初期値に設定されます。設定値は変更できません。

人物を撮影する（ポートレートモード／キッズモード）

（ポートレートモード）と（キッズモード）では、顔認識AFと顔認識AEが働きます。人物に正面からカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を認識し、ピントを合わせ（顔認識AF）、露出調整して（顔認識AE）撮影します。

	ポートレート	人物を撮影するときに使います。肌色を明るく健康的に仕上げます。
	キッズ	動きの多い子供の撮影に適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（ポートレートモード）を選ぶ

前回に（キッズモード）を選んでいれば、アイコンのかわりにアイコンが表示されています。その場合は、（キッズモード）を選びます。

3　OKボタンを押す

ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で、（ポートレートモード）または（キッズモード）を選ぶ

4
撮影

5 OKボタンを押す

選んだモードで、撮影できる状態になります。
カメラが液晶モニター内の被写体の顔を認識すると、顔の位置に黄色いフォーカスフレームが表示されます。被写体の動きを追尾して、フォーカスフレームの位置と大きさが変化します。

6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- ポートレートモードでは、被写体の顔を認識できない場合、通常のAFエリア（マルチ）でピントを合わせます。
- 液晶モニターには、モードアイコンとフォーカスフレームだけが表示されます。その他の撮影情報は表示されません。またOK／ディスプレイボタンを押しても、表示は切り換わりません。
- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面ではない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。
- 測光方式は、分割測光に固定されます。
- オートピクチャーモードを選び、ポートレートモードになった場合も、顔認識AFと顔認識AEが働きます。
- キッズモードでは、自動追尾 AF が働きます。シャッターボタンを半押ししてからも、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。

ペットを撮影する（ペットモード）

ペットモードでは、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、（ペットモード）を選ぶ

3 OKボタンを押す

ペット選択画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で、を選ぶ

犬柄と猫柄の2タイプがあります。（犬柄と猫柄はデザインが違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

5 OKボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

メモ

ペットモードとスポーツモードでは、自動追尾AFが働きます。シャッターボタンを半押ししてからも、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。

テキストを撮影する（テキストモード）

文字をくっきりと読みやすく撮影することができます。大事な書類を画像にして保存するときやテキストの文字が小さくて読みにくいときに便利です。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、（テキストモード）を選ぶ

3 OKボタンを押す

テキスト選択画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で、を選ぶ

	カラー	テキストを元の色のまま撮影します。
	カラー反転	カラーが反転します。
	白黒	テキストを白黒で撮影します。
	白黒反転	白黒が反転するように撮影します。

十字キー（◀▶）でコントラストを調整する

5 OKボタンを押す

テキストモードが選択され、撮影できる状態になります。

6 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

シャッターボタン
十字キー
OKボタン

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンに適切な設定で、撮影します。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする

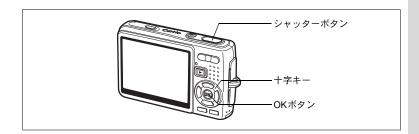
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

夜景
MENU 取消　OK 決定

遅いシャッター速度（約1/4秒以下）での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。

暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしやすくなります。手ぶれ補正機能を使って撮影するか、「撮影」メニューの手ぶれ補正をオフにして、カメラを三脚などに固定して撮影してください。（☞p.49）

手ぶれや被写体ぶれを軽減して撮影する（ぶれ軽減モード）

（ぶれ軽減モード）では、他のモードより高い感度で、ぶれを抑えて撮影することができます。シャッター速度と絞りは、適切な値に自動設定されます。手ぶれや被写体ぶれが起きやすい撮影シーンでお使いください。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（ぶれ軽減モード）を選ぶ

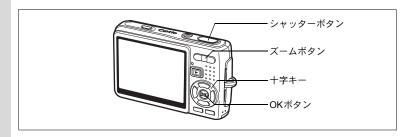
3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 記録サイズは5M に固定され、他のサイズに変更できません。
- ぶれ軽減モードで、感度をAUTOに設定すると、感度の値は最大ISO1600まで自動調整されるようになります。感度AUTO調整範囲は、最大ISO64－1600まで指定できるようになります。（p.87）

動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（動画モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

以下の撮影情報が液晶モニターに表示され、動画撮影が行える状態になります。

1 動画モードアイコン　**2** 発光禁止マーク
3 カード／内蔵メモリー　**4** 撮影可能時間
5 動画手ぶれ補正（オン）

4　シャッターボタンを押す

撮影を開始します。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

ズームボタン（♠）：被写体が大きく写る。
ズームボタン（♠♠♠）：被写体が小さく写る。

5　シャッターボタンを押す

撮影を終了します。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと、撮影が終了します。

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードでは、リモコンは使用できません。
- 動画モードでデジタルズームを使用するには、動画手ぶれ補正をオフにしてください。
- 動画モードでは、光学ズームは使えません。
- 動画モードでは、AFエリアはスポットに、フォーカスリミットとAF補助光はオフに固定されます。フォーカスモードが標準（オートフォーカス）、マクロ、あるいはスーパーマクロのとき、動画撮影開始直前にAF動作が1回行われます。

動画を再生する☞p.110

シャッターボタン
十字キー
OKボタン

フレーム合成モードで撮影する

フレーム合成機能を使って飾り枠付きの画像を撮影できます。カメラにはあらかじめ3種類のフレームが登録されています。

4
撮影

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、♥（フレーム合成）を選ぶ

3　OKボタンを押す

フレーム選択画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でフレームを選ぶ

5　OKボタンを押す

被写体がフレームの中に表示されます。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 記録サイズは3Mに固定され、他のサイズに変更できません。
- フレーム合成モードでは、連続撮影はできません。

新しく入手したフレームを登録する

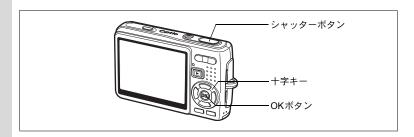
手順3でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

1 フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OKボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後、または2秒後に撮影します。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で ⏲（セルフタイマー）または ⏲2s（2sセルフタイマー）を選ぶ

3　OKボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

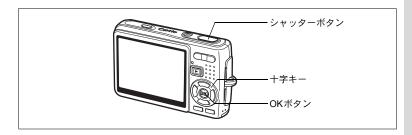
セルフタイマーが起動します。

⏲（セルフタイマー）の場合　：セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。それから約3秒点滅し、撮影されます。

⏲2s（2ｓ セルフタイマー）の場合：セルフタイマーランプがすぐ点滅し、約2秒後に撮影されます。

セルフタイマー作動中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

- セルフタイマー作動中に、液晶モニターにカウントダウンが表示されます。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しすると、カウントダウンを中止します。全押しすると、カウントダウンをやり直します。

こんなときには「ピントが合わない」☞p.176

連続して撮影する（連続撮影）

ドライブモードを連続撮影に切り替えます。シャッターボタンを押している間、連続して撮影できます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で ⧉（連続撮影）を選ぶ

3　OKボタンを押す

連続撮影できる状態になります。

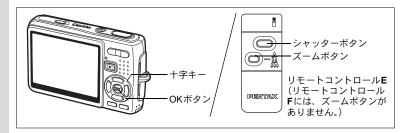
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

- SDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 動画モード、フレーム合成モードでは、連続撮影はできません。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目で固定されます。

リモコンを使って操作する（別売）

ドライブモードをリモコン撮影に切り替え、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って撮影が可能です。

リモコンを使って撮影する

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で（リモコン）または（0sリモコン）を選ぶ

3　OKボタンを押す

セルフタイマーランプがゆっくり点滅を始め、リモコンで撮影できる状態になります。

4　リモコンのシャッターボタンを押す

（リモコン）の場合　：セルフタイマーランプが速く点滅し、約3秒後に撮影されます。
（0sリモコン）の場合：すぐに撮影されます。

- セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。
- 動画モードでは、リモコンは使用できません。

リモコンを使ってズームを変更する

リモートコントロールE（別売）では、シャッターボタンによる撮影のほか、ズームボタンを使ってズーム倍率を変えることができます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で 3s（リモコン）または （0s リモコン）を選ぶ

3s（リモコン）でも （0sリモコン）でも動作は同じです。

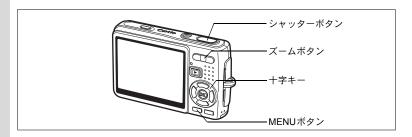
3　リモコンのズームボタンを押す

押すたびに、ズーム位置が望遠、中間、広角の3段階で切り替わります。

スーパーマクロモードでは、リモコンでズーム倍率を変更できません。マクロモードでは変更可能です。

- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約4m程度です。
- リモコンを使ってズームを変更できるのは、光学ズーム域のみです。デジタルズーム域は使えません。

リモコン用電池の寿命

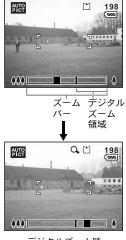
リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。（交換は有料になります）

ズームを使って被写体の大きさを変える

撮影する範囲の望遠／広角を調整し、被写体の大きさを変えて撮影できます。

1　撮影モードでズームボタンを押す

ズームボタン（♠）：被写体が大きく写る。（望遠）
ズームボタン（♠♠♠）：被写体が小さく写る。（広角）

デジタルズーム時

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。
デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大12倍相当まで拡大して撮影できます。

設定したズーム位置を保存する☞p.101

動画撮影中は、光学ズームは使用できません。

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは「☑（オン）」に設定されています。光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、「□（オフ)」に設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

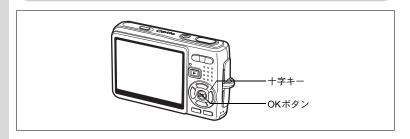
3　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ)」を切り替える

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能のオン／オフを保存する☞p.101

動画モードでデジタルズームを使用するには、動画手ぶれ補正をオフにしてください。

撮影のための機能を設定する

フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

AF	標準 （オートフォーカスモード）	シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。被写体までの距離が約35cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約12cm～40cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
s🌷	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約6cm～15cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
PF	パンフォーカスモード	近くの被写体と遠くの景色を一緒に撮るときや、被写体にフォーカスが合わせにくいときに使います。 ピントが合うのは以下の範囲です。 静止画撮影時： 約2.3m～∞（ワイド端）、約9.3m～∞（テレ端） 動画撮影時： 約0.9m～∞（ワイド端）、約3.7m～∞（テレ端）
▲	無限遠モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

フォーカスモードを保存する☞p.101

1　撮影モードで十字キー（▶）を押す

2　十字キー（▲▼）で、使用したいフォーカスモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

設定したフォーカスモードで撮影できる状態になります。

AF補助光について
- 暗いところでオートフォーカス撮影（ピント合わせ動作）を行うと、被写体に対してAF補助光が照射されることがあります。
- 本製品のAF補助光は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1に適合しています。AF補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく感じますので、発光部を至近距離から直接のぞきこむことはしないでください。

メモ
- フォーカスモードの初期設定は、標準（オートフォーカス）です。
- スーパーマクロモードでは、ズームがワイド端に固定されます。
- 動画モードでフォーカスモードが標準（オートフォーカス）、マクロ、あるいはスーパーマクロのとき、動画撮影開始直前にAF動作が1回行われます。

マニュアルでフォーカスを設定する

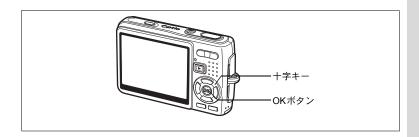
MF（マニュアルフォーカス）でOKボタンを押すと、画面中央部が液晶モニターいっぱいに拡大され、ピント調節ができます。十字キー（▲▼）を押すと、液晶モニターのインジケータの表示が変わります。これを目安に、十字キー（▲▼）で画面のピントを合わせます。

十字キー（▲）：遠くにピントが合う。
十字キー（▼）：近くにピントが合う。

インジケータ

4
撮影

フォーカス位置が決まり、OKボタンを押すとフォーカス位置が確定され、通常の撮影画面に切り替わります。
再調整するには、十字キー（▶）を押してください。

- 設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。
- 動画モードでマニュアルフォーカスを使用するときは、動画撮影開始前にピント合わせを行ってください。動画撮影中はピント調節ができません。
- マニュアルフォーカスからフォーカスモードを変更するには、インジケータが表示されている画面で、十字キー（▶）を2回押してください。

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

⚡A	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
⊘	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。夕景撮影やストロボの使えない場所（美術館など）での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。
SOFT⚡	ソフト	ストロボの光量を絞り、近い距離でストロボを発光しても明るすぎないようにします。常にストロボを発光します。

- 次の場合、ストロボは発光禁止になります。発光方法は変更できません。
  - 動画モード時
  - 連続撮影時
  - フォーカスモードが無限遠のとき
- ストロボが発光するときには、プリ発光（予備発光）した後、最後の発光で撮影を行います（赤目軽減機能を使用する場合は、プリ発光と最後の発光の間隔が長くなります）。

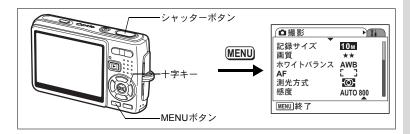
1 撮影モードで十字キー（◀）を押す

2 十字キー（▲▼）でストロボの発光方法を選ぶ

3 OKボタンを押す

選択したストロボ発光方法で撮影できる状態になります。

ストロボ発光方法を保存する☞p.101

- マクロモードでストロボを使用すると、画像が白トビ（露出オーバー）になることがあります。
- スーパーマクロモードでは、自動的にストロボ発光禁止に設定されますが、発光方法の切り替えは可能です。
- スーパーマクロモードでストロボ撮影を行うと、画面の左下が暗くなります。
- 夜景モードでストロボを使用すると、暗いシーンではシャッター速度が遅くなりますので、ご注意ください。
- 夜景撮影などシャッター速度が遅くなるシーンでは、手ぶれ補正の効果が十分にあらわれないことがあります。その場合は手ぶれ補正機能をオフにして、カメラを三脚などに固定して撮影することをお勧めします。（☞p.93）

静止画の記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「10M」「7M」「5M」「3M」「2M」「1024」「640」から選択します。
画素数が多くなるほど画像が大きくなり、容量も増えます。また、画像の容量は画質の設定（☞p.81）によっても異なります。

記録サイズ

記録サイズ		用途
10M (3648×2736)	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
7M (3072×2304)		
5M (2592×1944)		
3M (2048×1536)		
2M (1600×1200)		はがきサイズプリント
1024 (1024×768)		ホームページ掲載、電子メール添付など
640 (640×480)		

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

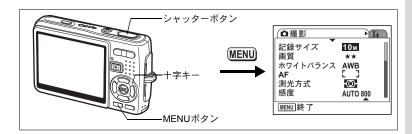
4　十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

選んだ記録サイズで撮影できる枚数が表示されます。

5　シャッターボタンを半押しする

撮影ができる状態になります。

- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.23

静止画の画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画像はきれいになり容量が増えます。なお、画像の容量は、記録サイズの設定（☞p.79）によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

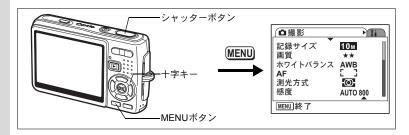
4　十字キー（▲▼）で画質を切り替える

選んだ画質で撮影できる枚数が表示されます。

5　シャッターボタンを半押しする。

撮影ができる状態になります。

画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.23

ホワイトバランスを調整する

撮影する場所の光の状態で、写真の色合いは変わります。目で見たままの自然な色を再現するために、ホワイトバランスを調整します。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
⌂	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
☀	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
≡	蛍光灯	蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
⊒	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。 光の状態が複雑な撮影シーンや、より正確な色再現をしたいときに使います。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ホワイトバランスの選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.101

4 撮影

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1　ホワイトバランスの選択画面で 凸（マニュアル）を選ぶ

2　ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニターいっぱいに表示されるよう、カメラを構える

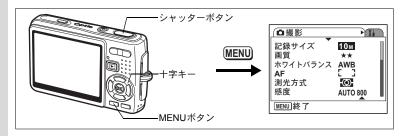
3　グリーンボタンを押す

ホワイトバランスが自動的に調整されます。
ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニターに「完了」と表示されます。

4　OKボタンを押す

今行った設定が保存され、「撮影」メニューに戻ります。

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

オートフォーカス条件を設定する

オートフォーカスの範囲や方式を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「AF」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

オートフォーカスの設定画面が表示されます。

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

[ ]	マルチ	画面中央部の広範囲（AFエリア枠内）を測距し、一番近いものにピントを合わせます。
[]	スポット	測距する範囲（AFエリア枠）を絞り込み、特定の被写体にピントを合わせやすくします。
	自動追尾AF	液晶モニター表示中は常にピントを合わせ続けます。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5　十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

オートフォーカスの設定を保存する☞p.101

フォーカスリミットを設定する

レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。
「フォーカスリミット」を「☑（オン）」にすると、レンズの移動が通常の撮影では遠距離側に、マクロ撮影では近距離側に制限されます。素早いピント合わせが可能になります。

4　十字キー（▲▼）で「フォーカスリミット」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

AF補助光を設定する

補助光を設定して、被写体が暗く、オートフォーカスが正確に作動しない環境でピントを合わせやすくします。

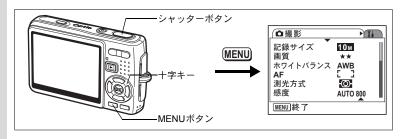
4　十字キー（▲▼）で「AF補助光」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

本製品のAF補助光は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1に適合しています。AF補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく感じますので、発光部を至近距離から直接のぞきこむことはしないでください。

次の場合、AF補助光は発光しません。
- 動画モード時
- 風景モード時（ただしAF補助光の設定をオンにすれば、発光させることができます。）
- フォーカスモードが、パンフォーカス、無限遠、マニュアルフォーカスのいずれかのとき

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

測光方式

	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

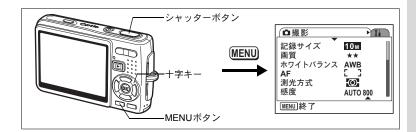
4 十字キー（▲▼）で測光の方式を選ぶ

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞p.101

シャッター優先モード、マニュアルモードでは、分割測光は選択できません。

4 撮影

感度を設定する

カメラの撮像素子の光に対する敏感さを、感度（ISO感度）といいます。数値が小さいほど感度は低く、大きいほど高くなります。撮影する場所の明るさに応じて、感度を調整します。

感度

AUTO	64、100、200、400、800から自動選択されます。 （ぶれ軽減モードでは1600も自動選択可能です。） AUTO調整範囲は、64-100、64-200、64-400、64-800から指定できます。 （ぶれ軽減モードでは64-1600も指定可能です。）
64	↕ 感度が低いと、画像はノイズが少なく、シャープになります。 ただし、暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 感度が高いと、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。 画像には、ノイズが増えます。 （ぶれ軽減モードでは、1600も設定可能です。）
100	
200	
400	
800	

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で感度の設定値を選ぶ

AUTO調整範囲を指定しない場合

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

AUTO調整範囲を指定する場合

5　「AUTO」を選び、十字キー（▶）を押す

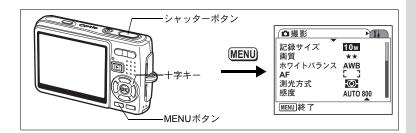
AUTO調整範囲の選択画面が表示されます。

6　十字キー（▲▼）で、調整範囲を選ぶ

7　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

感度を保存する☞p.101

- 動画モードの感度は、AUTO（調整範囲64-1600）に固定されています。設定は変更できません。
- シャッター優先モードの感度は、AUTO（調整範囲64-800）に固定されています。設定は変更できません。
- マニュアルモードでは、感度のAUTO調整は選択できません。
- AUTO調整範囲は、モードメモリの設定にかかわらず常に保持されます。感度の設定は、モードメモリの感度がオンの場合にのみ保持されます。

露出を補正する

露出（カメラの撮像素子にとどく光の量）を変えると、写真の明るさが変化します。カメラが自動設定した露出を変えて、好みにあわせた写真に仕上げることができます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で露出補正量を選ぶ

撮影
露出補正 ◀±0.0▶
動画
手ぶれ補正 ☑
デジタルズーム ☑
クイックビュー 0.5秒
モードメモリ
MENU 終了

＋側：画像全体を明るめ（露出オーバー）にする。
－側：画像全体を暗め（露出アンダー）にする。

露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で切り替えます。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

露出補正値を保存する☞p.101

オートピクチャーモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。

シャッターボタン
十字キー
MENUボタン
MENU
撮影
記録サイズ 10M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

動画撮影のための条件を選択する

動画撮影のための記録サイズや画質などを選択します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画撮影の条件を選択する画面が表示されます。

動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズは「640（640×480)」、「320（320×240)」から選べます。記録サイズが大きくなるほど、ファイルの容量も増えます。画像の容量は画質の設定によっても異なります。

記録サイズ

640 (640×480)	VGAサイズで高画質な動画を楽しめます。 ただし記録時間は短くなります。
320 (320×240)	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5　十字キー（▲▼）で動画の記録サイズを選ぶ

それぞれの設定値を選んだ場合の撮影可能時間が表示されます。

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

動画の記録サイズと画質☞p.24

動画の画質を選択する

動画の画質は「★★★（S.ファイン）」、「★★（ファイン）」、「★（エコノミー）」から選べます。★が多いほど、画像はきれいになり容量が増えます。

4　十字キー（▲▼）で「画質」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6　十字キー（▲▼）で画質を切り替える

それぞれの設定値を選んだ場合の撮影可能時間が表示されます。

7　シャッターボタンを半押しする

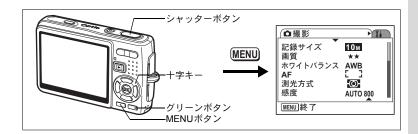
撮影できる状態になります。

動画の記録サイズと画質☞p.24

動画の手ぶれを補正する

「動画手ぶれ補正」を「☑（オン）」にすると、動画撮影で発生しやすい手ぶれを自動的に補正します。静止画の手ぶれ補正については「手ぶれを補正して静止画を撮影する」（p.49）をご覧ください。

4　十字キー（▲▼）で「動画手ぶれ補正」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

静止画の手ぶれ補正を設定する

静止画の手ぶれ補正機能を使用するために (p.49)、「撮影」メニューで「手ぶれ補正」を「☑（オン)」にしておきます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「手ぶれ補正」を選ぶ

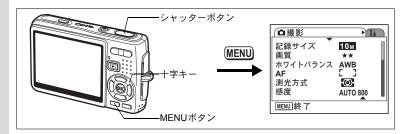
3　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ)」を切り替える

☑（オン）：撮影画面に(手ぶれ補正オン）が表示される。
□（オフ）：撮影画面に(手ぶれ補正オフ）が表示される。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

手ぶれ補正のオン／オフは、グリーンボタンで切り替えることもできます。グリーンボタンに別の機能を割り当てているときは、この機能は使えません。(☞p.95)

4 撮影

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の表示時間を「オフ（表示しない)」、「0.5秒」、「1秒」、「2秒」、「3秒」、「5秒」から選択します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー(▲▼)で「クイックビュー」を選ぶ

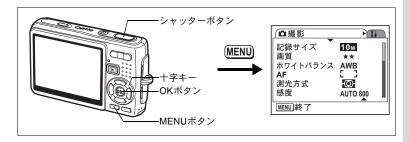
3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で表示時間を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

グリーンボタンを設定する

グリーンボタンに「グリーンモード」（p.50）、「手ぶれ補正」（p.49）、「Fn設定」（p.96）のいずれかの機能を登録できます。グリーンボタンを押すだけで、登録されている機能に切り替わります。

機能を登録する（グリーンモード／手ぶれ補正）

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で「グリーンボタン」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

グリーンボタンの設定画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で登録する機能を選ぶ

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

初期設定では、グリーンモードが登録されています。

4 撮影

よく使う機能を設定する（Fn設定）

よく使う機能を十字キーに登録します。撮影時にメニューを表示しなくても、十字キーを押すことで直接機能を設定することができます。
「Fn設定」は静止画撮影モードと動画撮影モードで異なる設定になっています。動画撮影時の「Fn設定」を行うには、p.95の手順1で、動画モードでMENUボタンを押してください。

4　十字キー（▲▼）で「Fn設定」を選ぶ

5　OKボタンを押す

Fn設定画面が表示されます。

6　十字キー（▲▼）で登録するキーを選ぶ

7　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

8　十字キー（▲▼）で登録する機能を選ぶ

9　OKボタンを押す

10　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

この機能は、グリーンボタンにFn設定を割り当てたときにのみ有効です。

各キーに登録することができる機能はひとつのみです。

Fn設定の初期値

	静止画撮影	動画撮影
初期設定	(▲)手ぶれ補正	(▲)動画手ぶれ補正
	(▼)露出補正	(▼)露出補正
	(◀)記録サイズ	(◀)記録サイズ
	(▶)画質	(▶)画質

Fn設定の設定可能項目

	静止画撮影	動画撮影
設定項目	記録サイズ	記録サイズ
	画質	画質
	ホワイトバランス	動画手ぶれ補正
	ＡＦエリア	ホワイトバランス
	測光方式	露出補正
	感度	シャープネス
	露出補正	彩度
	手ぶれ補正	コントラスト
	シャープネス	オフ
	彩度	
	コントラスト	
	オフ	

シャッターボタン
MENU
十字キー
MENUボタン
撮影
記録サイズ 10M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

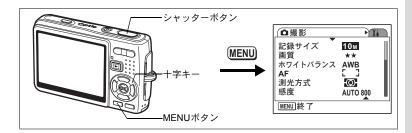
2　十字キー（▲▼）で「シャープネス」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）でシャープネスを切り替える

－側：シャープネスを弱める。
＋側：シャープネスを強める。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

シャープネスの設定は、電源をオフにしても保持されます。

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「彩度」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で彩度を切り替える

－側：彩度を弱める。
＋側：彩度を強める。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

彩度の設定は、電源をオフにしても保持されます。

シャッターボタン
十字キー
MENUボタン
MENU

撮影
記録サイズ 10M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

コントラストを設定する

画像内の明暗差を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「コントラスト」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）でコントラストを切り替える

－側：コントラストを弱める。
＋側：コントラストを強める。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

コントラストの設定は、電源をオフにしても保持されます。

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたあとも、各メニューに設定した値を保存することができます。この機能を、モードメモリと呼びます。
「☑（オン)」を選ぶと、電源をオフにする直前の設定値が保存されます。
「□（オフ）」を選ぶと、電源をオフにしたときに、自動的に初期設定に戻ります。
モードメモリの「☑（オン）／□（オフ)」は、メニュー項目ごとに設定できます。

モードメモリを設定できるメニュー項目

項目	保存する内容	初期設定
ストロボモード	⚡ボタンで設定したストロボの発光方法を保存します。	☑
ドライブモード	撮影中に十字キー（▲）で選んだドライブモード（ など）を保存します。	□
フォーカスモード	ボタンで設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	ズームボタンで設定した光学ズーム位置を保存します。	□
MF位置	マニュアルフォーカスの位置を保存します。	□
ホワイトバランス	「撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
測光方式	「撮影」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「撮影」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
露出補正	「撮影」メニューの「露出補正」で設定した露出補正値を保存します。	□
デジタルズーム	「撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（オン／オフ）を保存します。	☑
DISPLAY	液晶モニターの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

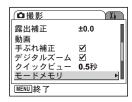
- 表に含まれないメニュー項目は、電源をオフにしたあとも、設定した値が保存されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、モードメモリのズーム位置をオンにしても保存されません。
- 感度AUTO調整範囲の設定値は、モードメモリの設定にかかわらず、常に保存されます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で「モードメモリ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

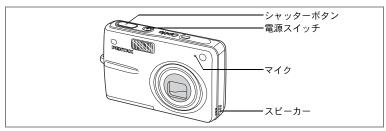
モードメモリのメニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

6 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。SDメモリーカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で 🎙（ボイスレコーディングモード）を選ぶ

3 OKボタンを押す

液晶モニターに録音可能な時間が表示されます。

1 残り録音可能時間
2 録音時間

4 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、アクセスランプが点灯します。
シャッターボタンを1秒以上押し続けると、押している間だけ録音されます。シャッターボタンを離すと、録音を停止します。

5 シャッターボタンを押す

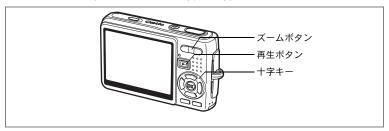
録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

6 十字キー（▼）を押してモードパレットを開き、（ボイスレコーディング）以外のモードに切り替える

ボイスレコーディングモードが終了します。

- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ前面に付いています。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- 録音中にMENUボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。
- 大容量のSDメモリーカードを使用した場合、最大12時間まで連続して録音ができます。

音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

1　ボイスレコーディングモードで、▶再生ボタンを押す

2　十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

ファイルの総録音時間

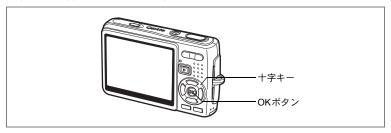
再生を開始します。

十字キー（▲）　　：一時停止する。
　　　　　　　　　　もう一度押すと、再開する。
インデックスがない場合
　十字キー（◀）　：約5秒戻る。
　十字キー（▶）　：約5秒進む。
インデックスがある場合
　十字キー（◀）　：前のインデックス位置から再生。
　十字キー（▶）　：次のインデックス位置から再生。
ズームボタン（♠）　：音量を大きくする。
ズームボタン（♠♠♠）：音量を小さくする。

4　十字キー（▼）を押す

再生を停止します。

ボイスメモを付ける

撮影した画像にボイスメモを付けることができます。

ボイスメモを録音する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（ボイスメモ）を選ぶ

ボイスメモ

MENU 取消　　OK 決定

4　OKボタンを押す

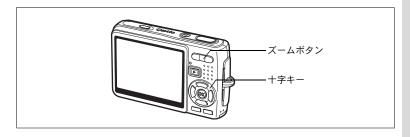
ボイスメモの録音を開始します。最長30秒録音することができます。

5　OKボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。

- ボイスメモを付けると、画面に♫が表示されます。
- すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったんボイスメモを消去してから、もう一度録音してください。（☞p.117）

プロテクトされている画像にボイスメモを付けることはできません。

5 録音・再生

ボイスメモを再生する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

再生された画像に🎵が表示されていれば、ボイスメモが録音されています。

2　十字キー（▲）を押す

ボイスメモが再生されます。

再生中にできる操作

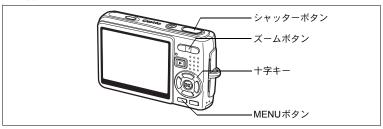
ズームボタン（♠）　：音量を大きくする。
ズームボタン（♠♠♠）：音量を小さくする。

3　十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生を停止します。

ボイスメモを消去する☞p.117

画像を再生する

SDメモリーカードをセットしているときは、カードに記録された画像が再生されます。
カードをセットしていないときは、カメラの内蔵メモリーに記録された画像が再生されます。

静止画を再生する

▶再生ボタンを押します。
操作方法は「画像を再生する」(p.30)「前後の画像を再生する」(p.30)をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を最大8倍まで拡大表示できます。

1 再生モードに入り、十字キー(◀▶)で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズームボタンの🔍/Qを押す

押すたびに1.3倍、2.0倍、2.6倍、4.0倍、5.3倍、8.0倍と一段階ずつ拡大します。
画像のどの部分を拡大しているかを、画面左下のガイド表示で確認できます。

十字キー(▲▼◀▶) :拡大位置を移動する。
ズームボタン(🔍) :画像を大きくする。
ズームボタン(▦) :画像を小さくする。

ガイド表示

3　MENUボタンを押す

拡大再生が終了します。

クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズームボタンの ♠/Q を1回押すだけで、最大倍率まで拡大できます。

1　MENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▶）を押す

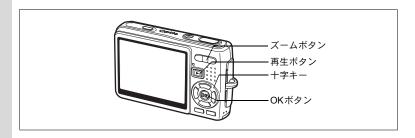
3　十字キー（▲▼）で「クイック拡大」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

6

再生・消去・画像編集

動画を再生する

動画を再生します（音声も同時に再生されます）。再生中は液晶モニターに操作ガイドが表示され、再生、コマ送り（コマ戻し）再生、一時停止、音量調節などができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）　：早巻き戻し再生する。
十字キー（▶）　：早送り再生する。
十字キー（▲）　：一時停止する。
OKボタン　：ディスプレイモードを切り替える。（☞p.111）
ズームボタン（♠♠♠/♠）：音量を調整する。

- **一時停止中にできる操作**

十字キー（◀）　：コマ戻しする。
十字キー（▶）　：コマ送りする。
十字キー（▲）　：一時停止を解除する。（再生する）
OKボタン　：ディスプレイモードを切り替える。（☞p.111）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止し、1コマ目に戻ります。

4　▶再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

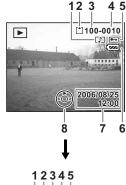
早巻き戻し、早送り再生中に音声は出ません。

撮影時の情報を表示する

再生モード時にOKボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。動画再生時は「ヒストグラム表示」はありません。

通常表示

撮影時の情報を表示します。

1 ボイスメモマーク　**2** カード／内蔵メモリー
3 フォルダ名　**4** ファイル名
5 プロテクトマーク
6 バッテリー残量表示　**7** 撮影日時
8 十字キー操作ガイド

ヒストグラム表示

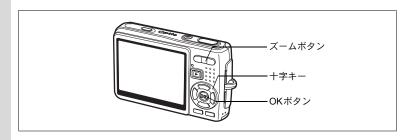
画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 記録サイズ　**2** 画質
3 ホワイトバランス　**4** 測光方式
5 感度　**6** ヒストグラム
7 絞り値　**8** シャッター速度

情報表示なし

撮影時の情報を表示しません。

通常表示

液晶モニターの表示モードを保存する☞p.101

9画像表示・カレンダー表示する

9 画像表示する

撮った画像を液晶モニターに同時に9枚ずつ表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズームボタンの⁂/⊞を押す

選択画像

9枚の画像が、ひとつのページに表示されます。表示はページ単位で変わります。

十字キー（▲▼◀▶）：選択枠を移動。
十字キー（◀）　　：選択枠が左上の画像にあるとき、前のページを表示。（画像が10枚以上ある場合）
十字キー（▶）　　：選択枠が右下の画像にあるとき、次のページを表示。（画像が10枚以上ある場合）

画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印　　　　　：ボイスメモなしの静止画
🎙（画像あり）：ボイスメモ付きの静止画
🎥　　　　　　：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
🎙（画像なし）：録音のみのファイル
?　　　　　　 ：表示できない画像

3　OKボタンを押す

選択した画像が全画面表示されます。

MENUボタンまたはズームボタンの🔍/Qを押しても、選択した画像を全画面表示できます。

6

再生・消去・画像編集

カレンダー表示する

カレンダー表示では、画像が撮影日ごとに表示されます。撮影日に従って、画像を選ぶことができます。

1　再生モードで 1 画面表示中に、ズームボタンの 🌲🌲🌲/⊞ を押す

9画像表示されます。

2　ズームボタンの 🌲🌲🌲/⊞ を押す

画面がカレンダー表示に切り替わります。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	🎙	31		

2006.08

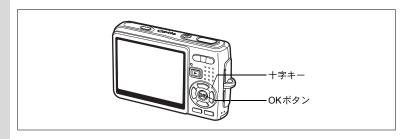
選択した日付

3　十字キー（▲▼◀▶)で、日付を選ぶ

十字キー（▲▼◀▶）：カレンダー上を選択枠が移動。
十字キー (◀）：選択枠が月の最初の日にあるときは、前の月をカレンダー表示。
十字キー (▶）：選択枠が月の最終日にあるときは、次の月をカレンダー表示。

4　OKボタンまたはズームボタンの 🌲/🔍 を押す

OKボタン：選んだ日付に最初に撮影された画像を、全画面表示。
ズームボタン(🌲/🔍）：選んだ日付に撮影された画像を、9画像表示。

- その撮影日に最初に記録されたのが音声のみの場合、カレンダーの日付に 🎙 が表示されます。動画の場合は、最初のコマが表示されます。
- カレンダー表示中にMENUボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わる前の9画像表示に戻ります。

スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ▣（スライドショウ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

5　十字キー（◀▶）で表示する間隔を切り替える

「3秒」、「5秒」、「10秒」、「20秒」、「30秒」から選択できます。

6　十字キー（▼）で「画面効果」を選ぶ

7　十字キー（◀▶）で効果を選ぶ

ワイプ	画像を1枚ずつ左にスライドさせる紙芝居のような効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がる効果
シュリンク	画像が中央部に向かって縮小する効果
オフ	切り替え効果なし

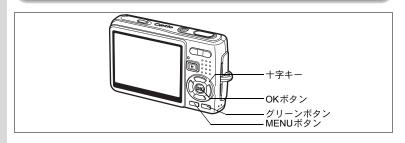
8　十字キー（▼）で「効果音」を選ぶ

9　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

10　OKボタンを押す

「スタート」と表示され、設定した表示間隔でスライドショウが始まります。

OKボタン　　　　　　：一時停止する。
　　　　　　　　　　　もう一度押すと、再開する。
OKボタン以外のボタン：停止する。

- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで何度でも繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらず、すべて再生されてから次の再生に移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、再生されません。

画像・動画・音声を消去する

1画像・1動画・1音声ずつ消去する

1画像、1動画、1音声ずつ消去します。

消去した画像・動画・音声は復元できません。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・動画・音声を選ぶ

2　グリーンボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

表示されている画像・動画・音声が消去されます。

- 画像の消去は、クイックビュー（p.94）で画像表示中に行うこともできます。
- プロテクトされている画像･動画･音声は、消去できません。（☞p.120）

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

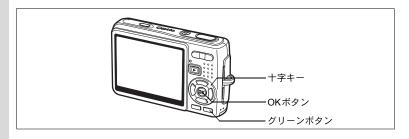
2　グリーンボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

ボイスメモが消去されます。

画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で消去を選びます。

まとめて消去する

保存されているすべての画像・動画・音声を消去します。

消去した画像・動画・音声は復元できません。

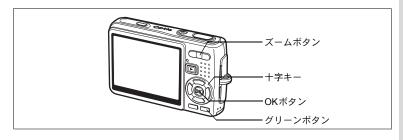
1 再生モードに入り、グリーンボタンを2回押す

全画像・音声消去画面が表示されます。

2 十字キー（▲）で「全画像／音声消去」を選ぶ

3 OKボタンを押す

すべての画像・音声が消去されます。

プロテクトされている画像・動画・音声は消去できません。（☞p.120）

選択して消去する（9画像表示で消去）

9画像表示で複数の画像や音声を選択し、まとめて削除します。

1　再生モードに入り、ズームボタンの♣♣♣/⊞を押す

画像が9コマずつ表示されます。

2　グリーンボタンを押す

画像や音声に「□」が表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で、選択枠を削除したい画像（音声）にあわせ、OKボタンを押す

画像が選択され、「☑」が表示されます。
確認してから削除したいときは、画像に選択枠をあわせてズームボタンの♣/🔍を押すと、全画面表示できます。（プロテクトされた画像は、全画面表示できません。）
MENUボタンを押すと、9画像表示に戻ります。

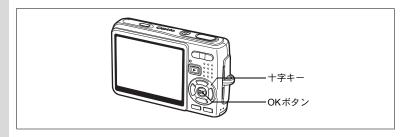
4　グリーンボタンを押す

消去確認画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6　OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

プロテクトされている画像・動画・音声は消去できません。（☞p.120）

消去できないようにする（プロテクト）

画像・動画・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像・動画・音声を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で O╖（プロテクト）を選ぶ

4　OKボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。

画像・動画・音声をプロテクトする

5　十字キー（▲▼）で「1 画像／音声」を選ぶ

6　OKボタンを押す

7　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

8　OKボタンを押す

- プロテクトを解除するには、手順7で解除を選びます。
- プロテクトされた画像・動画・音声には、再生時にO━ₙが表示されます。

全画像・動画・音声をプロテクトする

全画像・動画・音声をプロテクトすることができます。

5　十字キー（▲▼）で「全画像／音声」を選ぶ

6　OKボタンを押す

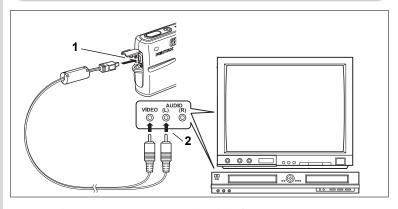
「すべての画像／音声にプロテクト設定を行ないます」というメッセージが表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

8　OKボタンを押す

手順7で解除を選ぶと、全画像・動画・音声のプロテクト設定が解除されます。

プロテクトされた画像・動画・音声もSDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると消去されます。

AV機器で画像を見る

AVケーブルを使用すると、テレビなどビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生、あるいは録画ができます。ケーブルを接続するときは、カメラとAV機器の電源を必ずオフにしてください。

1 PC/AV端子カバーを開き、AV端子に付属のAVケーブルを接続する

2 AVケーブルのもう一方の端子をAV機器に接続する

黄色（映像）　→　ビデオ（映像）入力端子
白（音声）　　→　音声入力端子
※ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3 AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数のビデオ入力があるテレビで画像を見るときは、ご使用のテレビの説明書をご確認のうえ、接続しているビデオ入力に切り替えてください。

4 カメラの電源をオンにする

ビデオの出力方式を切り替える☞p.161

- 長時間使用するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。テレビなど接続する機器の使用説明書もご覧ください。
- 国や地域によっては、カメラのビデオ出力方式が初期設定（NTSC）になっていると、画像がうまく映らない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。
- テレビに接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。

リモコンで再生する（別売）

カメラにAVケーブルが接続されているときには、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って静止画を再生できます。

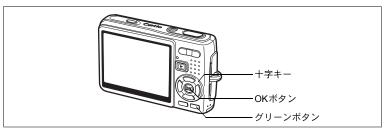
1　▶再生ボタンを押す

2　リモコンのシャッターボタンまたはズームボタンを押す

シャッターボタン：次の画像を表示。
ズームボタン　　：前の画像を表示。

- リモートコントロールFにはズームボタンがありませんので、シャッターボタン（次の画像表示）操作のみとなります。
- 動画や音声付き画像、音声のみのファイルは、リモコンで再生することができません。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンターやラボプリントサービスでプリントできます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
「枚数」：プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
「日付」：プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（DPOF）を選ぶ

4　OKボタンを押す

DPOF画面が表示されます。

5　OKボタンを押す

6 再生・消去・画像編集

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

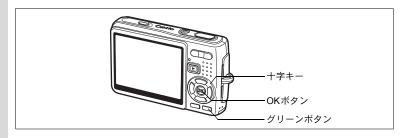
7 グリーンボタンで日付の「☑（オン）／□（オフ）」を設定する

☑（オン）：プリントに日付を入れる。
□（オフ）：プリントに日付を入れない。

8 OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。

- 動画や音声のみのファイルには、DPOF設定はできません。
- プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。

全画像を設定する

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（◀▼▲▶）で DPOF（DPOF）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　十字キー（▼）で「全画像」を選ぶ

5　OKボタンを押す

6　十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。

7　グリーンボタンで日付の「☑（オン）／□（オフ）」を設定する

☑（オン）：プリントに日付を入れる。
□（オフ）：プリントに日付を入れない。

8　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

全画像設定でプリント枚数の指定をすると､すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。

- 全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 動画にはDPOF設定できません。

カメラを直接プリンターにつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB17）で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、AC アダプタキット K-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。プリンターと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- カメラからプリンターへのデータ転送中は、アクセスランプが点滅します。
- データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの種類によっては、カメラ側の設定（DPOF の設定など）が一部しか反映されないことがあります。
- 「USB 接続」の初期設定は、「PC」です。「PC」に設定したまま、カメラをプリンターに接続しないでください。

カメラをプリンターに接続する

1 「設定」メニューの「USB接続」で「PictBridge」を選ぶ

USB接続モードを変更する☞p.160

2 カメラを付属のUSBケーブルでプリンターに接続する

PictBridgeメニュー画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「1 画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定ができます。

5　グリーンボタンで、日付の「☑（オン）／□（オフ）」を設定する

☑（オン）：プリントに日付を入れる。
□（オフ）：プリントに日付を入れない。

6　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、OKボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7　グリーンボタンを押す

設定変更画面に変わります。

8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

用紙サイズ

設定	2L
カード	8”x10”
L	A4
100x150	レター
はがき	11”x17”
4”x6”	A3

MENU 取消　　OK 決定

10 OKボタンを押す

11 手順8～10の操作を繰り返して、「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」を設定する

「設定」を選択するとプリンターの設定にしたがいます。
用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。
印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。

12 OKボタンを2回押す

設定した値で印刷が開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

全画像をプリントする

1 十字キー（▲▼）を押して「全画像」を選ぶ

2 OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で画像の確認ができます。

3 プリント枚数、日付の有無、印刷設定を確認して印刷する

設定のしかたおよび印刷については「1画像ずつプリントする」（p.128～129）の手順4～11をご覧ください。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定の確認ができます。

3　プリント枚数、日付の有無、印刷設定を確認して印刷する

プリント枚数、日付の有無の設定のしかたは「プリントサービスの設定をする（DPOF）」（p.124）をご覧ください。印刷については「1画像ずつプリントする」（p.128～129）の手順4～11をご覧ください。

プリンターからカメラを取り外す

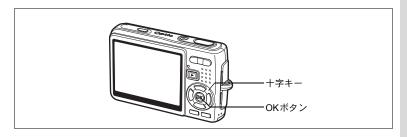
プリントが終了したら、カメラをプリンターから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンターからUSBケーブルを取り外す

カメラの電源をオフにしないでカメラからUSBケーブルを取り外すと、レンズは繰り出さずに再生モードになります。

画像を編集する

画像のサイズと画質を変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。
カード／内蔵メモリーがいっぱいになり撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きしてください。空き容量が増え、撮影を続けることができます。

1画像ずつリサイズする

サイズや画質を変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、リサイズしたい画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）を押して (リサイズ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

リサイズ画像の選択画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で記録サイズを変更する

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

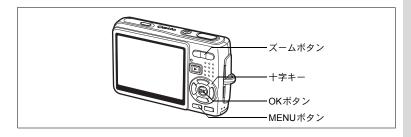
7 十字キー（◀▶）で画質を変更する

8 OKボタンを押す

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

10 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- リサイズの記録サイズは、9M、8M、6M、4Mも選べます。
- プロテクト（O┳）された画像は、上書き保存できません。
- リサイズできるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、トリミングしたい画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ⬚（トリミング）を選ぶ

4　OKボタンを押す

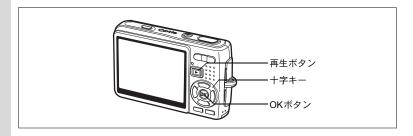
トリミング画面が表示されます。

5　トリミングする

ズームボタン（♠）　：トリミングサイズを拡大。
ズームボタン（♠♠♠）：トリミングサイズを縮小。
十字キー（▲▼◀▶）：トリミング位置を移動。
MENUボタン　　　　：モードパレットに戻る。

6　OKボタンを押す

トリミングされた画像が、別の画像として保存されます。

メモ
- 動画はトリミングできません。
- 画像サイズは変更されて保存されます。
- トリミングできるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

画像を回転表示する

静止画を回転して表示させます。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、回転表示させる画像を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

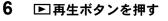
3 十字キー（▲▼◀▶）で ◇（画像回転）を選ぶ

4 OKボタンを押す

回転画面が表示されます。

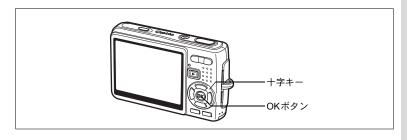
5 十字キー（▶）または十字キー（◀）を押す

十字キー（▶）：押すごとに、時計回りに90度ずつ回転。
十字キー（◀）：押すごとに、反時計回りに90度ずつ回転。

6 ▶再生ボタンを押す

回転情報を保存して、再生モードに戻ります。

- プロテクト（O‑m）した画像も、回転表示できます。ただし、回転情報を保存することはできません。
- 動画は回転表示できません。

6

再生・消去・画像編集

カラーフィルタを使って編集する

撮影した静止画像にカラーフィルタ処理を行います。
「白黒」、「セピア」、「カラー（8色から選択）」、「白黒＋赤」、「白黒＋緑」、「白黒＋青」の13種類から選べます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（カラーフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

カラーフィルタ画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で使用したいフィルタを選ぶ

6　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8　OKボタンを押す

カラーフィルタ処理で編集された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

カラー（8色）を選ぶには

5　十字キー（▲▼）で ▭（カラーフィルタ）を選ぶ

カラーバーが表示されます。

6　十字キー（◀▶）で使用したいカラーを選ぶ

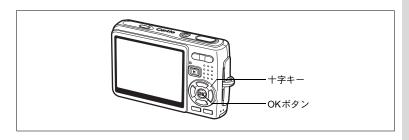
7　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

MENU 取消　OK 決定

9　OKボタンを押す

カラーフィルタ処理で編集された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルターを使って、撮影した静止画像に特殊な加工を施します。フィルターは「ソフト」、「イラスト」、「特殊効果1」、「特殊効果2」、「スリム」の5種類から選べます。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（デジタルフィルタ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

デジタルフィルタ画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）でフィルターを選ぶ

6 OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

加工された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

スリムフィルタを設定するには

5 **十字キー（▲▼）で［スリムフィルタアイコン］（スリムフィルタ）を選ぶ**

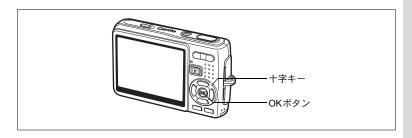
6 **十字キー（◀▶）でスリム度を調整する**

7 **OKボタンを押す**

上書き確認画面が表示されます。

8 **十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ**

9 **OKボタンを押す**

加工された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

明るさフィルタを使って編集する

撮影した静止画像の明るさをフィルターで調節します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ☼（明るさフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

明るさフィルタ画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）で明るさを調節する

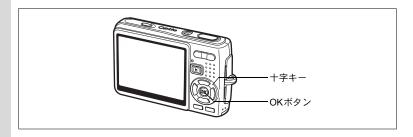
十字キー（▶）：明るくなる。
十字キー（◀）：暗くなる。
明るさは－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で調整します。

6　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8　OKボタンを押す

明るさフィルタで編集された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

動画を編集する

撮影した動画中のひとコマを切り出して静止画として保存したり、動画を分割することができます。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する動画を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で ✂（動画編集）を選ぶ

4 OKボタンを押す

動画編集画面が表示されます。この画面で各編集機能を選択します。

動画の1コマを静止画として保存する

5 十字キー（▲▼）を押して「静止画保存」を選ぶ

6 OKボタンを押す

コマ選択画面が表示されます。

7 十字キー（▲）を押して動画を再生し、保存したいところでもう一度（▲）を押して一時停止する

一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（◀）：コマ戻し。
十字キー（▶）：コマ送り。

8 OKボタンを押す

選択したコマが、静止画として保存されます。

動画を分割する

5 動画編集画面で「動画分割」を選ぶ

6 OKボタンを押す

分割位置選択画面が表示されます。

7 十字キー（▲）を押して動画を再生し、分割したいところでもう一度（▲）を押して一時停止する

一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（◀）：コマ戻し。
十字キー（▶）：コマ送り。

8 OKボタンを押す

分割確認画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼）で「分割」を選ぶ

10 OKボタンを押す

指定位置で分割した動画が、それぞれ別ファイルに保存されます。

動画抽出する

5 動画編集画面で「動画抽出」を選ぶ

6 OKボタンを押す

動画抽出画面が表示されます。

7 十字キー（▲）で動画を再生して、抽出する動画の先頭で十字キー（▲）を押す

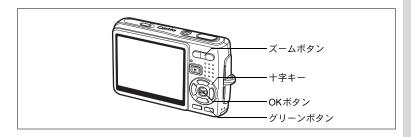
動画が一時停止します。一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（▶）：コマ送り。
十字キー（◀）：コマ戻し。

8 OKボタンを押す

9 十字キー（▲）で動画を再生して、抽出する動画の後尾で十字キー（▲）を押す

動画が一時停止します。一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（▶）：コマ送り。
十字キー（◀）：コマ戻し。

10 OKボタンを押す

抽出した動画が新規保存されます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、赤目補正する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で 👁✎（赤目補正）を選ぶ

4 OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。
「正しく処理できませんでした」とエラーメッセージが表示された場合は、「手動で赤目を補正する」（p.144）の手順5に進んでください。

5 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、新規保存されます。

6 OKボタンを押す

赤目補正された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

注意

- 動画は赤目補正できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

手動で赤目を補正する

自動では赤目補正できなかった画像の赤目を補正します。

5　OKボタンを押す

「補正する範囲を選択してください」と表示され、補正範囲指定画面が表示されます。

6　赤目補正をする範囲を選択する

十字キー（▲▼◀▶）：選択範囲を移動。
ズームボタン（♠）　：選択範囲を拡大。
（♠♠♠）：選択範囲を縮小。

MENU
補正
OK
完了

7　グリーンボタンを押す

赤目補正処理を行います。
メッセージが表示されずに元の画面が表示された場合は、処理が正常に行われていますので、手順8に進みます。
「正しく処理できませんでした」とエラーメッセージが表示された場合は、手順5からの処理を繰り返します。

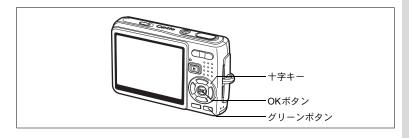
8　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

9　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、新規保存されます。

10　OKボタンを押す

赤目補正された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、同じ画質で保存されます。

フレーム合成をする

撮影した静止画に、フレーム（飾り枠）を合成します。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、フレーム合成する画像を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4 OKボタンを押す

フレームを合成する画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で合成するフレームを選ぶ

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は､「新規保存」だけが選択できます。

6 再生・消去・画像編集

8　OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3Mの記録サイズで保存されます。

動画や2M以下のサイズの画像は「フレーム合成」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

新しく入手したフレームを登録する

手順5でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

1　フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

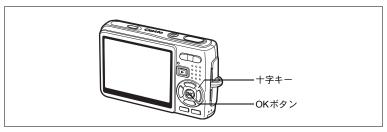
メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

2　十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OKボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

新しいフレームは、弊社ホームページの下記URLアドレスからダウンロードできます。

http://www.pentax.co.jp/japan/support/download/digital/frame_02.html

画像・音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声のファイルをコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルが一括してコピーされます。SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合は、1ファイルごとに確認しながらコピーします。

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（画像／音声コピー）を選ぶ

コピー画面が表示されます。ここでコピー方法を選択します。

3　OKボタンを押す

SDメモリーカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

4　十字キー（▲▼）を押して「[内蔵メモリー] ➡ [SD]」を選びOKボタンを押す

すべてのファイルがSDメモリーカードにコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

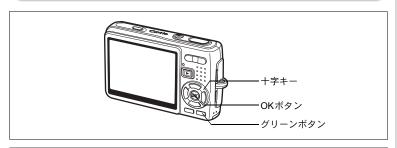
4　十字キー（▲▼）を押して「[SD] ➡ [内蔵メモリー]」を選びOKボタンを押す

5　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

6　OKボタンを押す

選んだファイルが内蔵メモリーにコピーされます。

- 音声付きの画像は、画像と同時に音声ファイルもコピーされます。
- SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。

カメラの設定をする

起動画面を設定する

カメラの電源を入れたときの起動画面を設定します。

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で OPTIO （起動画面設定）を選ぶ

3　OKボタンを押す

起動画面の設定画面が表示されます。起動画面は「USER」「オフ」を含む5種類の中から十字キー（◀▶）で選択できます。

撮影した画像を起動画面に設定する（USER以外に設定する場合は手順5へ）

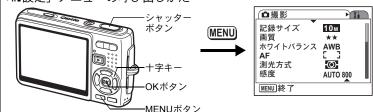
4　画面右上に「USER」と表示された画面でグリーンボタンを押し、十字キー（◀▶）で起動画面にしたい画像を選び、OKボタンを押す

以前に設定した画像を別の画像に変えるには、グリーンボタンを一度押してその画像を消去します。もう一度押すと画像を選択する画面になります。

5　OKボタンを押す

再生できる状態になります。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
- ビデオ出力中は、起動画面を設定できません。

「設定」メニューの呼び出しかた

SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

メモ 再生モードからフォーマットを行った場合、フォーマットが終わると再生モードに戻るので、「画像／音声がありません」と表示されます。

7 設定

サウンドの設定を変更する

録音した音声や操作音（起動音、シャッター音、操作音など）の音量を変更します。また操作音の音の種類を変更することもできます。

1　「設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

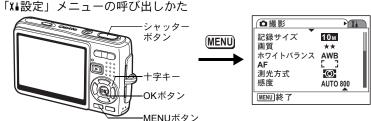
サウンド画面が表示されます。
選択枠は、「操作音量」にある状態です。

音量を変更する

3　十字キー（◀▶）を押して操作音量を切り替える

4　十字キー（▼）を押して「再生音量」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）を押して再生音量を切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

音の種類を変更する

3　十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

サウンド
操作音量
再生音量
起動音 1
シャッター音 1
操作音 1
セルフタイマー音 1
MENU

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「1」「2」「3」「オフ」のいずれかを選ぶ

6　OKボタンを押す

7　「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」も、同じ手順で設定する

8　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

音の種類を変更する（オリジナルの音声を使う）

カメラで録音した音声を、オリジナルの操作音として使うことができます。
使えるのは、録音した音声のはじめの2秒間です。

1　「音の種類を変更する」の手順5で、「USER」を選ぶ

2　OKボタンを押す

録音済みの音声ファイルの再生画面が表示されます。

設定

フォーマット
サウンド
日時設定
ワールドタイム
Language/言語　日本語
フォルダ名　標準
MENU 終了

3　**十字キー（◀▶）でファイルを選ぶ**

ファイルを再生して、確認します。
十字キー（▲）：冒頭の2秒間を再生。
十字キー（▼）：再生終了。

4　**OKボタンを押す**

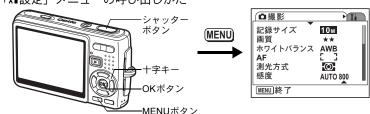
選んだ音声が、「USER」音として設定されます。

5　**「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」も、同じ手順で設定する**

6　**シャッターボタンを半押しする**

撮影できる状態になります。

サウンドの設定は、電源をオフにしても保持されます。

「X设定」メニューの呼び出しかた

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示スタイルを設定します。「年／月／日」「月／日／年」「日／月／年」から選べます。

1 「X设定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

3 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年／月／日」に移動します。

4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

6 十字キー（▲▼）を押して、「24h（24時間表示）」または「12h（12時間表示）」を設定する

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

9 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

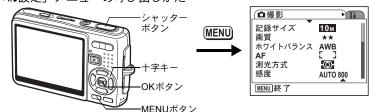
同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが切り替わります。

11 OKボタンを押す

設定が確定されます。

12 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

「𝐗设定」メニューの呼び出しかた

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする（表示言語と日時の設定）」（p.25）で設定した日時は、「ホームタイム」（通常使用する国・地域の日時）として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニターに設定した国・地域の日時を表示できます。

1 「設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ワールドタイムを設定する画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）で「✈（目的地）／⌂（現在地）」を切り替える

✈（目的地）：「目的地」で選択した都市の時刻を表示。

⌂（現在地）：「現在地」で選択した都市の時刻を表示。

4 十字キー（▼）で「目的地」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

目的地を設定する画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。

6 十字キー（◀▶）で、目的地の都市名を選ぶ

選択した都市の位置、現在地との時差が表示されます。

7
設定

7 **十字キー（▼）で「夏時間」を選択する**

8 **十字キー（◀▶）で、「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える**

目的地が夏時間を採用している場合は、「☑（オン）」にします。

9 **OK ボタンを押す**

ワールドタイムの設定が保存されます。

10 **十字キー（▼）で「現在地」を選ぶ**

手順5〜9と同様に設定します。

11 **シャッターボタンを半押しする**

撮影できる状態になります。

「⚙設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OKボタン
MENUボタン
MENU

撮影
記録サイズ 10M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどを表示する言語を変更します。
「日本語」「英語」「フランス語」「ドイツ語」「スペイン語」「ポルトガル語」「イタリア語」「スウェーデン語」「オランダ語」「ロシア語」「タイ語」「韓国語」「中国語（繁体字／簡体字）」の13言語に対応しています。

1 「⚙設定」メニューの「Language／言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

3 十字キー（▲▼◀▶）で言語を切り替える

4 OKボタンを押す

5 MENUボタンを押す

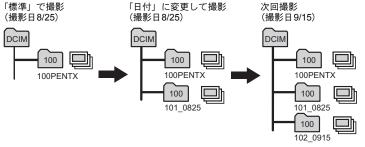
7 設定

フォルダ名を変更する

画像や音声を保存するフォルダ名の付けかたを選びます。「日付」を選ぶと、撮影日ごとに違うフォルダに保存されるようになります。

フォルダ名

標準	xxxPENTXになります。(xxxは3桁のフォルダ番号)
日付	xxx_mmddになります。（3桁のフォルダ番号_月日）

例

1　「設定」メニューの「フォルダ名」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3　十字キー（▲▼)で、「標準」「日付」を切り替える

4　OKボタンを押す

- 日付の表示スタイルを「日／月／年」に設定している場合は、xxx_ddmmになります。（3桁のフォルダ番号_日月）
- ひとつのフォルダに、500個のファイルを保存できます。500個を超えると、自動的に次のフォルダが作成されます。

「設定」メニューの呼び出しかた

MENU

十字キー

OKボタン

MENUボタン

撮影

記録サイズ 10M

画質 ★★

ホワイトバランス AWB

AF

測光方式

感度 AUTO 800

MENU 終了

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先がプリンター（PictBridge）か、パソコンかによって、USB接続モードを切り替えます。

1 「設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「PC」「PictBridge」を切り替える

4 再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

メモ

カメラとパソコンの接続については、別紙の「PC接続ガイド」をご覧ください。

- 「PictBridge」に設定したままで、カメラをパソコンに接続しないでください。
- 「PC」に設定したままで、カメラをプリンターに接続しないでください。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニターにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「NTSC」「PAL」を切り替える

モニターするテレビの出力方式に合わせて選択します。

4 再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

日本国内では、NTSC方式です。

「設定」メニューの呼び出しかた

MENU

再生ボタン

十字キー

MENUボタン

液晶モニターの明るさを調節する

液晶モニターの明るさを7段階で調節できます。

1 「設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で明るさを切り替える

スライダー左側：モニターが暗くなる。
スライダー右側：モニターが明るくなる。

3 ▶再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

節電機能を使う（エコモード）

一定時間操作しないときに、液晶モニターを自動的に暗くするように設定することで、バッテリーの消耗を軽減します。節電機能が働き、液晶モニターが暗くなった場合は、いずれかのボタンを操作すると元の明るさに戻ります。

1　「設定」メニューの「エコモード」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

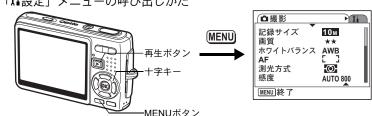
3　十字キー（▲▼）で「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」のいずれかを選ぶ

4　再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

以下の場合は、エコモードにはなりません。
- 再生モード中
- USB接続中
- 動画撮影時

7 設定

「設定」メニューの呼び出しかた

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1　「設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「5分」「3分」「オフ」を切り替える

4　▶再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

7 設定

ガイド表示を設定する

「ガイド表示」を「☑（オン）」に設定すると、撮影モードで起動したときや撮影モードに切り替えたときに、現在の撮影モードとグリーンボタンに割り当てている機能を、一時的に表示します。
またモードパレット上でアイコンを選ぶと、モードの説明が表示されます。

1　「設定」メニューの「ガイド表示」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）を押して「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

3　▶再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

設定をリセットする

「日時設定」、「ワールドタイム」、「Language／言語」、「ビデオ出力」以外の設定内容を初期設定に戻します。

1　「設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4　OKボタンを押す

カメラが初期設定に戻り、撮影または再生できる状態になります。

7
設定

付録

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市名です。

地域	都市名
北米	ホノルル
	アンカレジ
	バンクーバー
	サンフランシスコ
	ロサンゼルス
	カルガリー
	デンバー
	シカゴ
	マイアミ
	トロント
	ニューヨーク
	ハリファックス
中南米	メキシコシティ
	リマ
	サンティアゴ
	カラカス
	ブエノスアイレス
	サンパウロ
	リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン
	マドリード
	ロンドン
	パリ
	アムステルダム
	ミラノ
	ローマ
	ベルリン
	ストックホルム
	アテネ
	ヘルシンキ
	モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール
	アルジェ
	ヨハネスブルグ
	イスタンブール
	カイロ

地域	都市名
アフリカ・西アジア	エルサレム
	ナイロビ
	ジッダ
	テヘラン
	ドバイ
	カラチ
	カブール
	マーレ
	デリー
	コロンボ
	カトマンズ
	ダッカ
東アジア	ヤンゴン
	バンコク
	クアラルンプール
	ビエンチャン
	シンガポール
	プノンペン
	ホーチミン
	ジャカルタ
	香港
	北京
	上海
	マニラ
	台北
	ソウル
	東京
	グアム
オセアニア	パース
	アデレード
	シドニー
	ヌーメア
	ウェリントン
	オークランド
	パゴパゴ

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」はモードメモリ（☞p.101）の設定による。

リセット設定

する　：リセット（☞p.165）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		10M	する	する	p.79
画質		★★	する	する	p.81
ホワイトバランス		**AWB**（オート）	※	する	p.82
AF	AFエリア	[　]（マルチ）	する	する	p.84
	フォーカスリミット	オン	する	する	p.85
	AF補助光	オン	する	する	p.85
測光方式		（分割）	※	する	p.86
感度		AUTO800	※	する	p.87
露出補正		±0.0	※	する	p.89
動画	記録サイズ	640	する	する	p.90
	画質	★★★	する	する	p.91
	動画手ぶれ補正	オン	する	する	p.92
手ぶれ補正		オン	する	する	p.93
デジタルズーム		オン	※	する	p.73
クイックビュー		0.5秒	する	する	p.94

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
モードメモリ	ストロボモード	オン	—	する	p.77
	ドライブモード	オフ	—	する	p.68～71
	フォーカスモード	オフ	—	する	p.74
	ズーム位置	オフ	—	する	p.72
	MF位置	オフ	—	する	p.75
	ホワイトバランス	オフ	—	する	p.82
	測光方式	オフ	—	する	p.86
	感度	オフ	—	する	p.87
	露出補正	オフ	—	する	p.89
	デジタルズーム	オン	—	する	p.73
	DISPLAY	オフ	—	する	p.46
	ファイルNo.	オン	—	する	—
グリーンボタン		グリーンモード	する	する	p.95
シャープネス		標準	する	する	p.98
彩度		標準	する	する	p.99
コントラスト		標準	する	する	p.100

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
フォーマット		—	—	—	p.150
サウンド	操作音量	3	する	する	p.151
	再生音量	3	する	する	
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	1	する	する	
日時設定	表示スタイル	初期設定による	する	しない	p.154
ワールドタイム	時刻切替	現在地	する	しない	p.156
	目的地（都市）	現在地と同じ	する	しない	
	目的地（夏時間）	現在地と同じ	する	しない	
	現在地（都市）	初期設定による	する	しない	
	現在地（夏時間）	初期設定による	する	しない	
Language／言語		初期設定による	する	しない	p.25
フォルダ名		標準	する	する	p.159
USB接続		PC	する	する	p.160

名称	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
ビデオ出力	初期設定による	する	しない	p.161
LCDの明るさ	4	する	する	p.162
エコモード	5秒	する	する	p.163
クイック拡大	オフ	する	する	p.109
オートパワーオフ	3分	する	する	p.164
ガイド表示	オン	する	する	p.164
リセット	キャンセル	しない	する	p.165

● 再生モードパレット項目

名称			初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
	スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.114
		画面効果	ワイプ	する	する	p.114
		効果音	オン	する	する	p.114
	リサイズ		撮影画像による	しない	—	p.131
	トリミング		—	しない	—	p.133
	画像／音声コピー		キャンセル	しない	—	p.147
	画像回転		正位置	しない	しない	p.134
	カラーフィルタ		白黒	しない	—	p.135
	デジタルフィルタ		ソフト	しない	—	p.137
	明るさフィルタ		0	しない	—	p.139
	動画編集		静止画保存	しない	—	p.140
	赤目補正		—	—	—	p.143
	ボイスメモ		—	—	—	p.106
	プロテクト		1画像／音声	する	しない	p.120
	DPOF		1画像	する	しない	p.124
OPTIO	起動画面設定		撮影画像による	する	する	p.149
	フレーム合成		—	する	する	p.145

● 撮影モードと各機能について

○：使用できます　×：使用できません

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>ストロボ</th><th>マクロ、パンフォーカス、無限遠、マニュアルフォーカス</th><th>セルフタイマー</th><th>連続撮影</th><th>リモコン</th><th>デジタルズーム</th><th>LCDオフ</th></tr>
<tr><td rowspan="17">撮影モード</td><td>AUTO PICT</td><td>オートピクチャー</td><td rowspan="7">○</td><td rowspan="7">○</td><td rowspan="7">○</td><td rowspan="7">○</td><td rowspan="7">○</td><td rowspan="7">○</td><td rowspan="7">○</td></tr>
<tr><td>P</td><td>プログラム</td></tr>
<tr><td>Tv</td><td>シャッター優先</td></tr>
<tr><td>M</td><td>マニュアル</td></tr>
<tr><td></td><td>夜景</td></tr>
<tr><td></td><td>風景</td></tr>
<tr><td></td><td>花</td></tr>
<tr><td></td><td>ポートレート</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">×</td></tr>
<tr><td></td><td>キッズ</td></tr>
<tr><td></td><td>サーフ＆スノー</td><td rowspan="6">○</td><td rowspan="6">○</td><td rowspan="6">○</td><td rowspan="6">○</td><td rowspan="6">○</td><td rowspan="6">○</td><td rowspan="6">○</td></tr>
<tr><td></td><td>ぶれ軽減</td></tr>
<tr><td></td><td>スポーツ</td></tr>
<tr><td></td><td>ペット</td></tr>
<tr><td></td><td>テキスト</td></tr>
<tr><td></td><td>料理</td></tr>
<tr><td></td><td>フレーム合成（＊1）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td></td><td>動画</td><td>×（＊2）</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×（＊3）</td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>ボイスレコーディング</td><td>–</td><td>–</td><td>–</td><td>–</td><td>–</td><td>–</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">その他</td><td></td><td>デジタルズーム時</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>–</td><td>×（＊4）</td></tr>
<tr><td></td><td>マクロモード時</td><td>○</td><td>–</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td>無限遠モード時</td><td>×（＊2）</td><td>–</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>MF</td><td>マニュアルフォーカス時</td><td>○</td><td>–</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td></td><td>連続撮影時</td><td>×（＊2）</td><td>○</td><td>–</td><td>–</td><td>–</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

＊1：このモードに入ったときにLCDがオフであった場合、標準情報に移行します。
＊2：ストロボが発光禁止になります。
＊3：動画手ぶれ補正がオフのときのみ使用できます。
＊4：LCDをオフにするとデジタルズームは解除されます。

グリーンモードについては、p.50をご覧ください

● 撮影モードと各種機能の自動設定について

撮影モード		ストロボモード	記録サイズ	ホワイトバランス	AFエリア	フォーカスリミット	AF補助光	測光方式	感度	シャープネス	彩度	コントラスト
AUTO PICT	オートピクチャー			⑤				⑩		⑬	⑬	⑬
P	プログラム											
Tv	シャッター優先							＊2	＊3			
M	マニュアル	＊1						＊2	＊4			
	夜景											
	動画	①			⑥	⑧	⑧	⑪	⑫			
	ボイスレコーディング											
	風景			⑤			⑨	⑩		⑬	⑬	⑬
	花			⑤		⑨		⑩		⑬	⑬	⑬
	ポートレート			⑤				⑩		⑬	⑬	⑬
	キッズ			⑤	⑦			⑩		⑬	⑬	⑬
	サーフ＆スノー			⑤				⑩		⑬	⑬	⑬
	ぶれ軽減		③									
	スポーツ	②		⑤	⑦	⑨		⑩		⑬	⑬	⑬
	ペット	②		⑤	⑦	⑨		⑩		⑬	⑬	⑬
A	テキスト			⑤		⑨		⑩		⑬	⑬	⑬
	料理			⑤		⑨		⑩		⑬	⑬	⑬
	フレーム合成		④									

空白部分は、設定の変更を行いません。
①：発光禁止に固定
②：発光禁止（変更可能）
③：5M（2592×1944）に固定
④：3M（2048×1536）に固定
⑤：AWBに固定
⑥：スポットに固定
⑦：自動追尾AF（変更可能）
⑧：オフに固定
⑨：オフ（変更可能）
⑩：分割測光に固定
⑪：中央重点測光に固定
⑫：AUTOに固定
⑬：標準に固定
＊1：ストロボモードで、オート、オート＋赤目軽減は選択できません。
＊2：分割測光は選択できません。
＊3：感度は、AUTO800に固定されます。
＊4：感度で、AUTOは選択できません。

グリーンモードについては、p.50をご覧ください

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC8J

USBケーブル I-USB17（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

カメラケース O-CC42

キャリングケース O-CC172

ストラップ O-ST8

ストラップ O-ST20（※）

レザーストラップ O-ST24

スポーツストラップ O-ST30

リモートコントロールE（ズーム対応品）

リモートコントロールF

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8（※）

バッテリー充電器キット K-BC8J
（バッテリー充電器 D-BC8、ACコード D-CO2Jのセット）

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

<table>
<tr><td>手ぶれ補正がオフです</td><td>「撮影」メニューの手ぶれ補正がオフの状態で、手ぶれ補正プレビューボタンを押したときに表示されます。「撮影」メニューで手ぶれ補正をオンにしてください。（p.93）</td></tr>
<tr><td>圧縮に失敗しました</td><td>画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影してください。</td></tr>
<tr><td>画像／音声がありません</td><td>SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。</td></tr>
<tr><td>カードの空き容量がありません</td><td rowspan="2">SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。
新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.21, 116）
画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.131）</td></tr>
<tr><td>内蔵メモリーの空き容量がありません</td></tr>
<tr><td>画像／音声が作成できません</td><td>カメラの仕様により、大容量のSDメモリーカードをセットしている場合でも10000枚までしか撮影できません。続けて撮影するためには、SDメモリーカード内の画像を消去してください。</td></tr>
<tr><td>カードが異常です</td><td>SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。</td></tr>
<tr><td>カードがフォーマットされていません</td><td>フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.150）</td></tr>
<tr><td>カードがロックされています</td><td>ロックされたSDメモリーカードが装着されています。メニュー操作、モード切り替えだけができます。</td></tr>
<tr><td>記録中です</td><td>画像を記録中に再生モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録終了後に表示が消えます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">処理中です</td><td>画像をSDメモリーカードあるいは内蔵メモリーに記録しています。</td></tr>
<tr><td>画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。</td></tr>
<tr><td>動画を記録しています。</td></tr>
<tr><td>デジタルフィルタ処理中や動画を編集中、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます。</td></tr>
<tr><td>消去中です</td><td>画像や音声を消去中に表示されます。</td></tr>
<tr><td>この画像／音声を再生できません</td><td>このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。</td></tr>
<tr><td>電池容量がなくなりました</td><td>バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。（p.14）</td></tr>
</table>

フォルダが作成できません	最大のフォルダNo.とファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください。(p.21, 150)
プロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。
この画像／音声を処理できません	画像のリサイズ設定、トリミング設定、プロテクト設定、DPOF設定や動画編集、デジタルフィルタ使用時に処理できない画像を選択したときに表示されます。
処理できる画像がありません	再生モードパレットで処理できるファイルが存在しません。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認し、入っていなければ、入れてください。(p.14)
	バッテリーの入れかたを間違えている	バッテリーの向きを確認し、入れ直してください。(p.14)
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。(p.15)
	寒さでバッテリーの性能が一時的に低下した	バッテリーをポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。
液晶モニターに何も表示されない	液晶モニターがオフにセットされている	OK／ディスプレイボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボアイコンが液晶モニター上で赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了するとストロボアイコンが赤色に点灯します。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.21, 116)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
	SDメモリーカードに記録された画像、動画、音声のファイルが10000枚に達した	SDメモリーカードを交換するか、不要な画像を消去してください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。■（夜景モード）にセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。(p.46, 62)

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニター中央の［　］(AFエリア)に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷（マクロ）または s🌷（スーパーマクロ）にセットしてください。（p.74）
	フォーカスモードが🌷（マクロ）または s🌷（スーパーマクロ）になっている	フォーカスモードが🌷（マクロ）または s🌷（スーパーマクロ）にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	⚡A（オート）または⚡（強制発光）に設定してください。（p.77）
	撮影モードが🎥（動画モード）にセットされているか、連続撮影、無限遠モード、🏃(スポーツモード)、🐶(ペットモード）に設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。 🏃(スポーツモード)、🐶（ペットモード）は、ストロボの発光禁止を解除できます。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	カメラのUSB接続モードが「PictBridge」になっている	USB接続モードを「PC」に切り替えてください。（p.160）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	カメラのUSB接続モードが「PC」になっている	USB接続モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.160）

静電気などの影響により、まれにカメラが正しく動作しなくなることがあります。このような場合には、いったん電池を入れなおしてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

カメラ本体

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	1000万画素	
撮像素子	総画素数1037万画素 原色フィルター／インターラインントランスファー 1/1.8型CCD	
記録画素数	静止画	10M (3648×2736)、7M (3072×2304)、5M (2592×1944)、3M (2048×1536)、2M (1600×1200)、1024 (1024×768)、640 (640×480)
	動画	640 (640×480)、320（320×240）
感度	オート、マニュアル(64/100/200/400/800/1600*：標準出力感度） *ただし、1600はぶれ軽減モード時のみ	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2)、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（MPEG-4準拠DivX)、約30フレーム／秒、音声あり、動画手ぶれ補正（25fpsで撮影したものを約30fpsで記録）
	音声	WAV（PCM方式)、モノラル、最大録音可能時間　約4時間19分59秒（256MBのSDメモリーカード使用時）
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	内蔵メモリー（約22MB)、SDメモリーカード	

撮影枚数と時間（256MBのSDメモリーカードを使用した場合）
静止画

記録サイズ＼画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	音声
10M	74枚	107枚	149枚	4時間19分59秒
7M	104枚	151枚	210枚	
5M	147枚	213枚	296枚	
3M	223枚	323枚	448枚	
2M	313枚	453枚	628枚	
1024	571枚	826枚	1144枚	
640	1048枚	1515枚	2098枚	

動画

記録サイズ＼画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
640（640×480）	11分35秒	14分30秒	17分25秒
320（320×240）	44分47秒	55分39秒	64分10秒

＊ 撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数・撮影時間・録音時間は異なることがあります。

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	7.9mm～23.7mm （35ミリフィルム換算：38～114mm相当）
	最大F値	F2.8～F5.4
	レンズ構成	5群7枚（両面非球面レンズ2枚、片面非球面レンズ1枚）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約65.6mm×48.6mmを画面いっぱいに撮影可能 （スーパーマクロモード）
	レンズバリアー	電動式
デジタルズーム	撮影時	最大約4倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率）
液晶モニター	2.5型TFTカラー LCD、約23.2万画素（バックライト付）、微反射タイプ、視野率約100%	
再生機能	1コマ、インデックス(9画面)、カレンダー、拡大(最大8倍まで、スクロール可)、動画再生、音声再生、ヒストグラム表示、選択消去、 再生モードパレット（スライドショウ、リサイズ、トリミング、画像／音声コピー、画像回転、カラーフィルタ、デジタルフィルタ、明るさフィルタ、動画編集、赤目補正、ボイスメモ、プロテクト、DPOF、起動画面設定、フレーム合成）	
	カラーフィルタ	白黒、セピア、カラーフィルタ（バー表示、8色）、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青
	デジタルフィルタ	ソフト、イラスト、特殊効果1、特殊効果2、スリム
	明るさフィルタ	明るさフィルタ
フォーカス	オートフォーカス方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式、AF補助光、5点マルチ／スポット切替、フォーカスロック（シャッターボタン半押しによる）、自動追尾AFが可能
	静止画の撮影範囲 （レンズ前面から）	ノーマル：約0.35m～∞（ズーム全域） マクロ：約0.12m～約0.4m（ワイド端） スーパーマクロ：約0.06m～約0.15m（ワイド端） 無限遠：∞（ズーム全域） パンフォーカス：約2.3m～∞（ワイド端）、約9.3m～∞（テレ端） マニュアルフォーカス：約0.06m～∞（ワイド端）、約0.35m～∞（テレ端）
	動画の撮影範囲 （レンズ前面から）	ノーマル：約0.12m～∞（ワイド端）、約0.35m～∞（テレ端） マクロ：約0.12m～約0.4m（ワイド端） スーパーマクロ：約0.06m～約0.15m（ワイド端） 無限遠：∞（ズーム全域） パンフォーカス：約0.9m～∞（ワイド端）、約3.7m～∞（テレ端） マニュアルフォーカス：約0.06m～∞（ワイド端）、約0.35m～∞（テレ端）
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	撮影モード	グリーン、モードパレット（オートピクチャー、プログラム（Tv、Mも選択可）、夜景、動画、ボイスレコーディング、風景、花、ポートレート（キッズも選択可）、スポーツ、サーフ＆スノー、ぶれ軽減、料理、ペット、テキスト、フレーム合成）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	動画	撮影時間約1秒～メモリーカード容量いっぱいまで

シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減、ソフト
	撮影範囲	ワイド 約0.06m～約7.1m（標準出力感度オート時） テレ 約0.35m～約3.5m（標準出力感度オート時）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、10秒セルフタイマー撮影、2秒セルフタイマー撮影、3秒後リモコン撮影、即リモコン撮影	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界71都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約150枚	（液晶モニターオン、ストロボ使用率50％、23℃、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8を使用した場合） ※撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。
入出力ポート	USB／ビデオ端子（PC通信方式USB2.0・ハイスピード対応）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL	
大きさ	88.5（幅）×54.5（高）×23（厚）mm（操作部材および小突起部を除く）	
質量	125g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	145g（電池、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電器、ACコード、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、AVケーブル、ストラップ、使用説明書	

電源

	バッテリー充電器D-BC8	ACアダプタD-AC8（別売）
定格入力	AC100-240V（50Hz/60Hz）	AC100-240V（50Hz/60Hz）
定格出力	DC4.2V/630mA	DC4.5V/2A
大きさ	88×46×26.5（mm）	90×43.5×26.5（mm）
質量	61g	122g

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付
　0120-737-919（フリーダイヤル）
　03-3975-4314（携帯・PHS用）
　受付時間：　午前9:00～午後5:00
　（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付
　URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

FAX受付
　FAX:03-3975-4318
　インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]
ペンタックスサービス(株)東日本修理センター　03-3975-4341(代)
　〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
　ペンタックス（株）流通センター内
　営業時間：　午前9:00 ～午後5:00
　（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス(株)西日本修理センター　06-6271-7996(代)
　〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
　営業時間：　午前9:00 ～午後5:00
　（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

索引

し

す

せ

そ

て

と

に

は

ひ

ふ